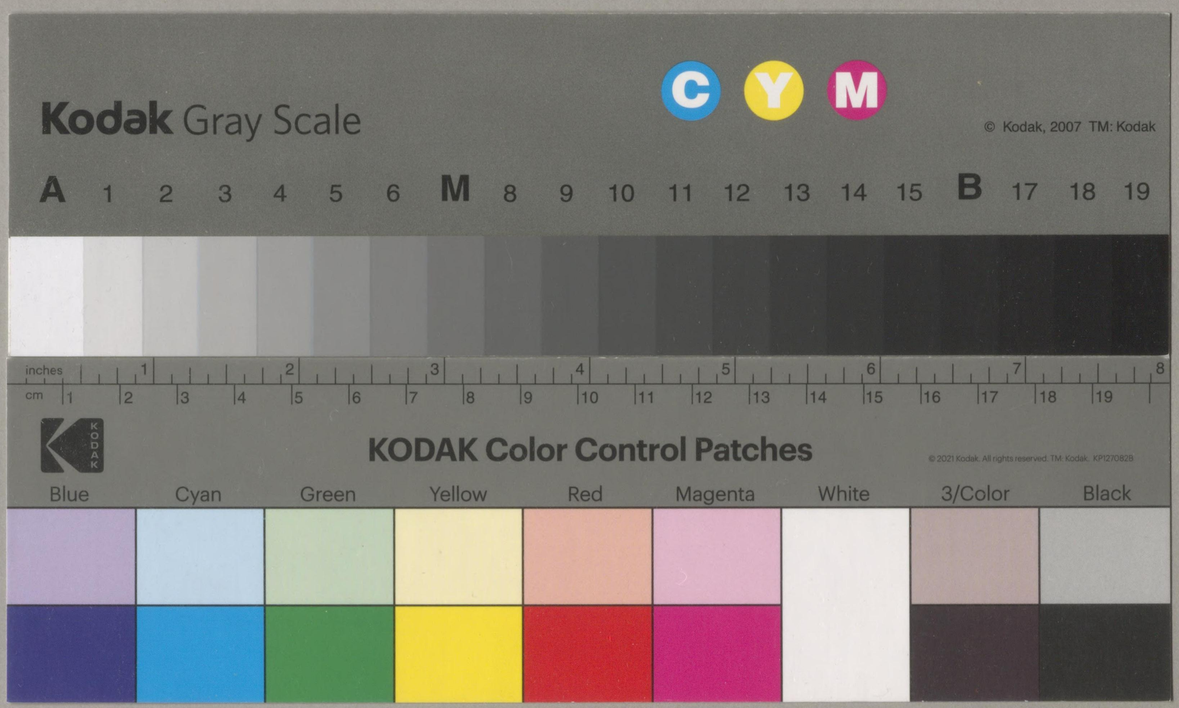

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
KODAK Color Control Patches
© 2021 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. KP1270828
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

509-128
12005014827107

24. 9. 30

文學博士 鳥居龍藏著

下伊那の原史及先史時代 圖版

信濃教育會下伊那部會藏版

文學博士　鳥居龍藏　著

下伊那の原史及先史時代

圖版

信濃教育會下伊那部會藏版

大正
13.12.19
内交

509-128

第一部　先史時代

圖版說明

第一遺跡

第一圖版　遺　跡（其一）

（二）座光寺村大門原遺跡地を西方より望みたる圖。近き臺地上の桑畑一帶が濃厚な散列地である。白線を引けるは天龍川、其對岸は龍東地方の村落、波浪の如く續けるは伊那山脈、其奥に赤石連山の一部が見える。

（一）市田村牛牧、鐘鑄原及天伯堂の全景。緩傾斜の桑園全部が遺跡地である。向つて右方の森は村社伊勢宮、遠くは龍東方面の村々と伊那赤石兩山脈を眺める。大門原及鐘鑄原、天伯堂は本郡龍西の段丘上に形勝の位置を占め、展望は雄偉豪宕、加ふるに出土遺物の種數も甚だ多く、地域亦廣汎なるこゝ遙に他の遺跡に優り、先住民族の住居跡として恐らくは代表的のものであらう。大門原、鐘鑄原天伯堂に喬木村阿島第一小學校庭の遺跡を加へ、先史時代の本郡三大遺跡と稱することが出來やう。

（三）市田村牛牧鐘鑄原の内、市田小學校牛牧部運動場西方の包含地で、白く見ゆる巻尺は包含地の深さを示す。調査中の人物は編者の鳥居。

第二圖版　遺　跡（其二）

（四）大島村元大島宮坂遺跡地の北西部高地より東南方の展望圖。人の立つあたりがその中心地、臺地の突端部に白く見えるのは天龍川、その向ひは龍東地方の村落と伊那山脈である。

（五）山吹村駒場山吹小學校附近の遺跡地を新田原臺地上より望みたる圖。向つて左方臺地緣邊の森は天伯の社、右方の突角は山吹城址、天龍川向ひは龍東の村落とその山々なり。（×地點は包含地であつた。）

（六）上郷村下黒田大明神原臺地下より東南方の庚申原遺跡を望む圖。×附近は遺物散列の濃厚なる地點。

第三圖版　遺　跡（其三）

（七）飯田町二本松臺地北端から藤山及藤山下遺跡を望む圖。遠く見ゆるは野底川の谷を隔てたる上郷村高松の臺である。

（八）上飯田村正永寺原權現堂附近の臺地から湯渡遺跡を望む圖。×地點の桑園から石劍・磨石斧・打製石斧其他多くの遺物を發見した。

（九）鼎村矢高原の全景。向つて左方の森は矢高神社。遠くに見ゆるは龍東地方の山々。遺物の散列は餘り濃厚でない。

第四圖版　遺　跡（其四）

（一〇）下川路村今洞遺跡地全景。人の立てる邊がその中心地域。天

龍川の向ひは龍江村、薄くぼけて見える山は伊那山脈。

（一一）伊賀良村北方の遺跡地眞慶地の西方丘陵より南方臼井原を望みたる景觀。人の立つ所が濃厚なる彌生式土器の散列地である。

（一二）山本村山本金掘塚の全景。圖の中央樹木の茂れる墓地附近の桑畑よりは多くの遺物が發見された。

第五圖版　遺　跡（其五）

（一三）會地村春日向山遺跡地を西方より望む圖。その後方は三穗村境に連亘する大峰山である。

（一四）伍和村備中原の遺跡地を南方より望む圖。大杉の茂生する森の右隣の圃地、向つて左端の二階建の家の附近よりは雄大なる紋様のアイヌ人厚手派土器及び石斧を發見した。遠くの山は木曾山脈。

（一五）智里村園原サブゴヤ遺跡地。阿知川の支流横川川の峽谷より八町許りを登りつめた山腹の小平地（人の群がり居る所）である。會て開墾中に夥しき石器土器を發掘し、現在でも遺物を發見する。

第六圖版　遺　跡（其六）

（一六）波合村平谷上の平遺跡地より南方を望みたる寫圖。山麓に續く人家は平谷の宿。近き稻田一帶の地より遺物の發見があつた。

（一七）根羽村月瀨日陰平を北東高地より撮影したもの、此地は郡、同時に信濃國の最南端に位し、三河國と直に境を接する。アイヌ人薄手派の遺跡地で、向つて右方には根羽川（矢作川の上流）が流れて居る。矢作川上流に薄手土器遺跡地の存在は先史時代民族の交通路を考察する上の有力な資料であらう。

（一八）下條村睦澤クネバヤシのアイヌ人薄手派遺跡を西方より望みたる圖。人の立つ邊が甚散列地。

第七圖版　遺　跡（其七）

（一九）大下條村田上中島遺跡地を西方より望みたる景色。二三白衣の人物が立つ桑園よりアイヌ人厚手派及彌生式土器、石器類を發見した。

（二〇）旦開村新野芳が洞及コロバシ平遺跡地（アイヌ人薄手派）を隔てゝ遙かに新野盆地を望みたる景色。向つて（人の立つ所より）右方の桑畑が遺物散列地である。

（二一）神原村向方上の畑遺跡地の全景。×印の畑は遺物發見地。此遺跡地は深山幽谷中の小平地である。

第八圖版　遺　跡（其八）

（二二）木澤村古道木の松の田・道下の遺跡地を和田川沿岸より望む圖。×印附近の傾斜地點からは數多の石斧が發見せられた。

（二三）八重河内村横村の全景。×印は石斧の發見地。

（二四）南和田村名古山を西方より望む圖。向つて右方を流れるのは遠山川。遺跡地は×印附近、山腹の傾斜地である。

第九圖版　遺　跡（其九）

（二五）平岡村松島遺跡地を天龍川對岸の滿島方面より展望した景色。圖の中央に見ゆる二本の大杉樹前方の傾斜地よりは石器の發見があつた。

（二六）泰阜村金野・峠田の全景。圖の中ほどの小平地人物の立つ邊より石鏃を發見した。

（二七）千代村野池・牧遺跡地より西方を望む景色。人の數人立てる

傾斜面の圃地が遺物發見地である。

第十圖版　遺　跡（其十）

（二八）上久堅村風張臺地上の上久堅小學校々庭より西北方の中宮及上平遺跡を望みたる寫圖。

（二九）生田村部奈遺跡を東南方より望みたる圖。

（三〇）神稻村田村原遺跡を東南部の臺地上より撮影したるもの。×印附近はその中心地帶で、遠くは天龍川西岸の山吹村段丘と木曾山脈の一部を展望する。

第十一圖版　遺　跡（其十一）

（三一）河野村大塚上のアイヌ人厚手及薄手派の遺跡（近き桑畑）を東南方面より望む圖。天龍川の對岸は山吹及大島の臺地である。

（三二）喬木村阿島・城原遺跡を南方の歸牛原より遠望したる圖。圖の右方に白く見ゆる小丘の斜前方なる段丘の緣邊に近き所が彌生式土器の包含地。

（三三）は大正十一年七月二十八日調査委員が同包含地を發掘しつゝある所。向つて左端は編者の鳥居。

第十二圖版　遺　跡（其十二）

（三四）上郷村下黒田見城垣外の包含地。大正十一年四月伊那電車線路の切取工事中完全なるアイヌ人厚手派土器を發掘した。圖の中央卷尺を垂れたる下に白く見える石はその蓋石で出土の位置を示して居る。

（三五）大正十一年七月二十八日編者の鳥居が喬木村調査の際、同第一小學校では兒童をして校庭内の大包含地を發掘せしめた。圖はアイヌ人厚手土器包含の現狀を寫眞にしたものである。この校庭全部は一大包含地で此時に同校職員及兒童の手に依つて發掘せられたる土器破片は三十箇のバケツに溢るゝ許りの多量であつた。その後、更に數箇の大土器と多數の石器類が發掘せられた。

第二遺物

第十三圖版より第五十八圖版に至る四十六葉には本郡出土の先史時代各種遺物の寫眞を類別的に輯錄してある。遺物には出土發見地名と調査當時の所藏者氏名とを註記して其典據を明かにした。氏名註記には遺物所藏者が發見町村内居住のときは一々其町村名を掲げずして其氏名のみを記し、所藏者が他府縣郡市又は他町村の場合に限りて其住所を附記した。これは遺物所藏者は其出土發見の町村に最も多く居住して居るから繁雜を避けん爲此方法を採ることにしたのである。次に地名はその終りに出土又は發見の語を省略し單に町村名大字名のみを註記した。これも同一語を繰り返す煩を避けるためである。

第十三圖版　磨製斧石（其一）

（一）―（七）は天龍川流域地方の河成段丘臺地上に最も多く發見せられる型式のもので、刃部の切斷面は扁平形、所謂蛤刃をなし、上端の切斷面は圓形をなす樣に磨かれた石斧である。吾々は之を天龍式石斧と名づける。この種の石斧は從來遠州式石斧と命名せられてゐ

たが、反つて此の天龍川上流地域が中心地であるから殊に斯く命名した。(一)(二)は天龍式石斧の完品、(一)の如きは長さ九寸三分に達する大形のもの、(一一)―(一二〇)は特殊型式の石斧で(一一八)は中央部に膨みがあり、(一一九)は匙形をなし、(一二)は中央に縊れあり、(一一七)は扁平で石劍かとも思はれる半磨製石斧、(八)は中央部に横に磨り切りの跡を有し、(一一〇)は背の眞ん中を縦に扁たく磨げる所に特異があり、(一一)は形狀頗る大に長さは九寸に達し形も異常である。

第十四圖版　磨製石斧(其二)

本圖版には、前圖版のものより、形が稍、小さく且精巧に美しく造られた磨製石斧を輯めてある。その中には(三七)(三九)(四一)(四七)の如き吾々の越式と命名した石斧もある。越式とは北越地方に多く發見せらるゝ石斧で刃部を諸刃に、上端の平面が▭形に見ゆる樣に磨かれたものである。(四八)(四九)は長さの割合に幅が廣くて、他とは少しく異つた形の磨製石斧である。刃部に缺損ある石斧の多いことは先住民族が之を諸種の工作に使用したことを想像し得べき好資料であらう。

第十五圖版　磨製石斧(其三)

此の圖版の磨製石斧は前圖版よりは一層小形になつて居る。(但し(五〇)は除外)これら小石斧中には(五六)の如く刃部を鋭く造つたもの、(五〇)(六五)の如く細長い鑿形をなしたものなどがあり、また(六八)以下に見る樣な長さ六分乃至一寸位の極めて小形なものがあつて、夫れ〴〵刃部の形狀を異にする。這は先史時代の民衆が各種の工作に適應さすために此の如き多種多樣の工具を造つたものと考察して差支なからう。

第十六圖版　打製石斧(其一)

普通型式―刃部の方が他端より少し幅廣く、其他に餘り特異の點なき形狀―の打製石斧中長さ五寸八分以上七寸に達する比較的大きい形のものを輯めた。石質は概して硬砂岩が多い。綠泥片岩のものも交つて居る。

第十七圖版　打製石斧(其二)

普通型式の打製石斧の長さ五寸以下のものを輯めてある。その中には(三九)―(四三)の如き長さ二寸前後の極めて小さきものあり。石質は硬砂岩と綠泥片岩との二種である。小石斧になると大きな形のものよりは數に於て綠泥片岩の割合が增加する傾がある。之は綠泥片岩の石質が軟かであるため小細工に適するのによるのであらう。(三一)(三七)は普通型ではあるが、刃部が稍、斜に造られて居る點が他と異る。刃部にこの癖を有するものを吾々は伊那式と名ける。此の如き型の石斧は伊那郡に最も多く發見せられる。

第十八圖版　打製石斧(其三)

(四四)―(五三)は短册型―刃部も上端も同じ幅さで、兩端を直角に切つた樣な形、中には刃部と稱すべき部分のないものもある。―の打製石斧である。

(五四)―(五六)は上端の一方が斜に切られた樣な形に尖つて居るので、先住民族が貝殼をこゝ開けるのに用るはせぬかと想像される石斧で、阿波に多く發見せられるから阿波式と名づける。(五九)も變

つた型式のもので側面は〳〵形をなして居る。(六一)は細長形で鎗か劍の樣な形をした、特異形の石斧。(六〇)はそれに近い形をして居る。

第十九圖版　打製石斧(其四)

(六二)―(六七)は撥(ばち)型をなし、(七〇)―(七二)は杓子型をなし、(七四)―(七八)は鉞型をなせる石斧で、石質は何れも硬砂岩である。(七〇)は遠山地方木澤村の急傾斜地古道木より發見せられた石斧の一であるが。長さは七寸以上あり、雄大型に屬するものである。

第二十圖版　打製石斧(其五)

(八〇)(八一)(八三)―(八六)(八九)は分銅型をした石斧で、(八九)は特に整つた形をなす。(七九)は分銅型と鉞型との中間型のもので(八二)(八五)は鉞型の上端に窪みのある樣な形をした郡下に類型の稀な異形の石斧、(八七)も鉞型の一變形である。(九〇)(九一)は匙型をなす。石質は(九〇)(九二)の外は殘らず硬砂岩である。

第二十一圖版　打製石斧(其六)

(九二)―(九七)は島田型(島田鍬形の意)の石斧で、(九二)は長さ一尺、幅廣き所六寸を測る郡下最大の打製石斧。(九三)は綠泥片岩製の少しく型の變つた島田型石斧。(九八)は三頭石斧、(九九)は四頭石斧(破片)である。(九八)(九九)は郡内で唯一箇宛發見せられたのみである。(九九)は一見打製の如くではあるが、磨製のが風化したものとする方が適當である。紙幅の都合上此所に收めたに過ぎないことを斷つておく。

第二十二圖版　打製石斧(其七)　獨鈷石

(一)―(八)は石匙の樣な形をした小さい打製石斧で、石質は全部硬砂岩で、片方は自然面を利用して造られて(九)(一〇)も石鏃形をした小さい打製石斧である。此の兩種の石斧の用途は石匙石鏃と同樣であつたかも知れない。假りに打製石斧の部に入れて置く。(一一)(一二)(一三)は獨鈷石形石斧でその中(一三)は最も精巧に磨かれてある。(一二)は綠泥片岩製で比較的粗末な作り方である。而して(九)(一〇)(一一)は硬砂岩であるが、(一三)の石質は不明である。

第二十三圖版　發掘具・紡錘車・圓形石器

(一)―(五)は扁圓形で短三寸乃至五寸程の小石の中央に兩挟りの穴を穿つた石器。此の穴に竹木片を差し込んだもので、(一)(二)等は原始的農具で樹木や草根を掘る用に供したものであらう。(四)は穴が極めて小さく何に使用したものであらうか、(三)(五)は紡錘車であらう。(六)―(八)は同樣な石で穴を有せないものである故、假りに圓形石器と呼んで置く。恐らくは他の石器の研磨に用ひ、或は石鏃製造の際に槌としたものであらうか。石質は悉く硬砂岩製である。

第二十四圖版・第二十五圖版　石匙

本郡で發見された石匙は種々雜多の形をなして居るが、大體左右に長い杏葉形のもの、上下に長い匙形のものとの二種に分ち得る。前者には撮(つまみ)が中央についたのとが横の方についたのとがあり。後者にも種々の變形があつて巾着形をしたものなどもある。粘板岩・鐵硅石・黑曜石等を打缺いて造つたものが多い。

第二十六圖版・第二十七圖版・第二十八圖版　石鏃・石錐・石鎗

石鏃には篦代即ち込のあるものと、ないものとの二種類がある。前者を有柄、後者を無柄と稱する。有柄石鏃にも無柄石鏃にも大小形態が種々雜多なること圖に示すが如くである。(一一二)(五三)(六三)(九〇)(九五)(一一六)(一一七)等は有柄石鏃の特異なものである。これらは黑曜石で造られたものが最も多く硅岩(燧石)・鐵硅石等で造られたものこれに次ぎサヌカイトで造られたものも可なりに多くある。(二五二)—(二八三)は本郡發見の石鏃の種類で、(二八〇)—(二八九)はいづれも石鎗である。併しながら(二五七)(二六四)の如きは石鏃の部類に入れた方が穩當かも知れない。

第二十九圖版　磨製石鏃

本郡出土の磨製石鏃はスレート製が最も多數を占めて居るが、サヌカイト其他の石を用ゐたものがあり、赤褐色の鐵硅石を用ゐた者が稀にある。穴のあるものとないものとの二種あり、穴は兩抉りが普通であるけれど、(四)の如く二穴を有するもの唯一箇あり、(八)の一、二、三は製作順序を示す標本と見られやう。(一一)が穴のあけかけになつて居ることにも注意を拂ふべきであらう。

第三十圖版　石劍

この圖版には本郡で發見した石劍の殆んど全部を輯めてある。石劍はスレート又は絲泥片岩等の比較的軟い石で造られ、切斷面は扁圓又は扁たい三角形である。(一)(二)(六)(七)(八)には頭部に種々の紋樣を彫刻してある。

第三十一圖版　石棒

本郡出土石棒は(一)—(一二)で示す如くであるが、未だ完全に兩頭で出たものが無い。一頭のものが多數を占むる。その頭部の型式に多種あること圖に示すが如くである。

これらの石棒は安山岩又は花崗岩で造られ、其切斷面には圓形・楕圓形又は鈍頂の三角形等種々あり。

第三十二圖版　石皿

(一)(二)は破片なれど、安山岩を磨いて造つた精巧なもので、底面に脚を有する。(三)(五)は花崗岩製、形狀に特異はないが、後者は頗る大型である。(四)の兩側と兩端とには楕圓三重の凸紋を刻してある。

第三十三圖版　凹石・石冠

凹石の(一)(四)は相竝びて二つの窪みあり、(二)(三)(五)(六)は一つの窪みあるものである。大體硬砂岩製であるが、(二)は安山岩、(五)(六)は軟かい灰青色の凝灰岩で造られ、共に發火の押へ石である。石冠は本郡に(七)(九)の二箇が發見せられたのみである。

第三十四圖版　錘石(其一)

(一)—(五)は硬砂岩製の薄き楕圓形の剝片(片面は自然面利用)の兩端を打ち缺いた打製の錘石で、(六)—(一二)は最も普通に且多數發見せらるゝ種類のもので扁圓なる自然石(長徑四寸以下)の兩端を打ち缺いて造つてある。大小種々あり、形にも細長形・楕圓形・圓形等があり石質は大部分硬砂岩である。

第三十五圖版　錘石(其二)

(一二)—(一三一)は兩端及左右の四ヶ所を打ち缺いたもの、(一三二)—(一三六)は兩端を擦り減らして切れ込みを造つたもの、(一三七)—(一四六)は糸又は紐を環らすため、中央部に念入りに擦り込みの溝を施してある。(四七)は溝の外に左右の擦り込みを有する、最も念入りで且極めて小形のものである。(第三十四圖版圖目石錘は錘石の誤植)

第三十六圖版　裝飾品

(一)(二)は碧色の美玉製、(一)(五)は黃褐色の美玉製、(四)はスレート製である。美觀に於ては(二)が最も優秀で(三)之に次ぐ。(五)は蓋し原始勾玉であらう。(六)—(一〇)の玦は蠟石製の殘缺(一一)—(一六)は石製でなく、土製の耳飾で零細なものだが珍らしい品である。

第三十七圖版　石庖丁

石庖丁は粘板岩製のものが多い。圖に於て見る如く中央上端に兩抉りの一つの穴を穿つ。二箇の穴あるものは見付からない。穴には稀に片抉りのものもある。(六)(一三)はアイヌ系でない彌生式土器を使用した吾人祖先固有日本人の遺跡地(市田村唐澤原)よりの發見で(一)(二)(三)(四)も彌生式土器の多量を出土したる遺跡地(松尾村毛賀)の發見である。このここは先史時代に於ける吾人祖先の先驅者と石庖丁との關係考察の資料として附け加へておく。

第三十八圖版　アイヌ人厚手派土器(其一)

本郡出土の先史時代厚手土器中形態の完全せるものは其數實に少くして僅に三箇に過ぎない。本圖に收めたのはその中の二つである。(一)は上鵜村見城垣外包含地出土の石蓋をした大土器。(二)は伍和村塚本から出た鍋の類であらう。(三)に見る如く內部は黑色に焦げ口緣部兩側には內耳がついて居る。

第三十九圖版・第四十圖版・第四十一圖版　アイヌ人厚手派土器(其二、其三、其四)

この三圖版にはアイヌ人厚手派土器の比較的大形で全形を推測し得る程度の破片、または紋樣に著しき特徵ある破片を集錄した。これらのうちには規模の雄大なもの、紋樣の稍、退化したものなど種種ある。(一一)は無紋の完全な土器で、(一)(二)(九)—(一〇)(一七)(二三)(二四)(二七)等は紋樣部が比較的完全に現はれた大破片である。(二八)—(三一)は表面に泥紐を貼り付けて施紋せる特異な土器の破片である。

第四十二圖版・第四十三圖版・第四十四圖版　アイヌ人厚手派土器(其五、六、七把手)

(一)(二)はこの派の土器に特有な顏面把手で、其外側方のみに止らず、內側にも顏面を造つてあるここは類例の稀な珍らしいもの、(三)(四)、(五)(六)及(七)(八)はいづれも雄大複雜なる此派土器特有のの把手。(九)は例の泥紐を張りつけて施紋したものである。之等裝飾紋樣把手はもと多くは渦卷を基調として變化したもので、いかに其意匠の變化發展するかに注意せよ。

第四十五圖版　土器底部

土器底部の所謂實物紋樣を示したもので、木葉・網代、籠目などあり、同じ網代紋の中にも細大各種のものがある。多くはアイヌ人厚手派に屬すとが、(一)(二)(三)の如きは所屬不明である。

第四十六圖版　アイヌ人厚手派土器紋樣拓影(其一)

本圖版には厚手派土器の中、沈紋(陰刻)に屬する紋樣を次の如き類別に隨つて集錄した。

(1)渦卷紋樣のもの。(一)—(一九)
(2)圓形紋樣のもの。(二〇)—(四二)
(3)渦卷紋樣と圓形紋樣との交錯及びその變化せるもの。(四二)—(五八)
(4)渦卷紋樣の地に細かい平行直線紋樣(刷毛目)を附加せるもの(五九)—(六八)
(5)渦卷紋樣の地　繩紋を附加せるもの。(六九)—(九八)
(6)羽狀紋樣のもの。(九九)—(一〇七)
(7)細かい平行直線紋樣又は稍〻太い平行直線紋樣のもの。(一〇八)—(一一五)

大體から觀察して渦卷紋を基調として居ることは云ふまでもない。

第四十七圖版　アイヌ人厚手派土器紋樣拓影(其二)

厚手派土器のうち、凸紋(陽刻)に屬する分を集錄した。

(1)單なる渦卷紋樣のもの。これには概して規模の雄大なものが多く、器物も大形である。(一)—(一一)
(2)渦卷紋樣の地に刷毛目、平行直線紋、繩紋を加味したもの。(一二)—(一二三)
(3)紋樣の凸部に平行短線、連點、連弧(竹管を押した樣な紋樣)を加へたもの。(一二四)—(一五一)
(4)泥紐を張りつけて施紋したる渦卷紋樣。(一五六)—(一六六)

一般に渦卷紋樣を基調とし、其規模は豪壯雄大なるものが多い。

第四十八圖版・第四十九圖版　アイヌ人薄手派土器

本郡には完全なるアイヌ人薄手派土器は一箇も發見されない、悉く破片である。故に其全形を知るの便に供せんため、東大人類學教室所藏の完品を附載することにした。本郡出土遺物の斷片(把手、土瓶の口、口緣部其他)と對照して觀察するならば薄手派土器の大體は了解出來やうと思ふ。

第五十圖版　アイヌ人薄手派土器及アイヌ人土器底部紋樣拓影

薄手派土器の紋樣は厚手派土器の紋樣に比較するに、渦卷紋、繩紋其他凡べて纖細巧緻に進化して居ることは(一)—(五八)に於て見らるゝ通りである。そのうちには(六)(七)、(一一)(一二)、(四八)(四九)(五七)(五八)、(六〇)(六一)、(六二)(六三)の如く器物の外內兩面に紋樣を有するものゝあることに注意したい。

(六八)—(七四)は薄手的色彩を帶べる土器紋樣である。

(七五)—(九九)は土器底部の實物紋樣を集めたもので其中、(八〇)(八一)(八四)は彌生式、(七七)(七八)は所屬不明、其他はアイヌ人土器である。底部の紋樣は圖に於て見る如く、木葉紋、網代紋、籠目紋が多數を占めて居る。(八四)が布紋(布帛の織紋)であることなどは、特に注意を要する。

第五十一圖版・第五十二圖版　土器

本郡の土偶には完全なるものは絕無であるが、破片は比較的豐富に發見せられて居る。本圖版には其大部分を收めた。(一)は胴部以上を具備せる完全に近いもの、(二)より(一〇)までは頭部、(一一)(一二)は胴部である。(一五)(一六)は肩及腕の一部、(一四)は脚部であらう。(一七)(一八)は脚部である。本圖版の土偶は頭部の結髮の

有樣や胸部に乳の存することに由り、何れも女人像なることは明かである。且又顏面部や乳の周緣が模樣化されて居ることなど、注意すべきであらう。

第五十三圖版　彌生式土器(其一)

彌生式土器は吾人祖先—固有日本人が先史時代に製作使用したものである。

(一)は比較的完全な彌生式器、(三)(五)は同じく口緣部である。いづれも赤褐色素燒で波狀の刷毛目紋樣あり、口緣には平行斜線紋樣がつけてある。

第五十四圖版　彌生式土器(其二)

向つて右上、武藏國、大崎の彌生式土器は(一)と對照の爲めに載せることにした。紋樣と形態とに於ける兩者の類似點に注意したい。

(二)(三)は本郡で最初、發見の歷史を有する彌生式土器破片である。(六)は海拔一千六百米の神坂(みさか)嶺上を通ずる先史時代交通路上の採集で、表面には微かな刷毛目紋樣がある。(九)は彌生式系高坏の脚の一部であるが羽狀紋樣を施してある特殊の一例として採擇した。

第五十五圖版　彌生式土器(其三)

(一)—(五)は先史時代の彌生式か、原史時代の彌生式かにつきて稍〻疑問ではあるが、假りに先史時代に收めたものである。(五)は坩にあらず、高坏にあらず、何とも判斷のつかない妙な形をして居り、其用途も亦不明であるが、(一)—(四)と伴出したるが故に此所に收めておいた。高坏(七)(一〇)の脚部の穴は戀てそれが發達して祝部土器(すえのうつは)(陶器)高坏の脚部の透しになるべき經路を示すおもしろい物である。(一三)は單獨に出土すれば原史時代の高坏脚として認めらるゝものであるが、角形把手を有する彌生式土器(一二)と伴出して居るので先史時代と推定しこの所に收めた。先史時代の彌生式土器と原史時代の彌生式土器即ち一名埴部(はにべ)土器との間に截然たる區劃の立たないことはこれら二種の土器が密接なる連絡關係を有するものであることを語るものである。

第五十六圖版　彌生式土器土器紋樣拓影

本圖版は彌生式土器紋樣の集成である。(一七)(一八)(二二)(五一)は口緣部の紋樣、(六一)—(六七)は底部の紋樣である。外面紋樣は刷毛目の波狀紋及平行直線紋が多數を占めて居ることは云ふまでもないが、(五六)に見る如き三角紋樣內に點紋を加へたもの、(五七)—(六〇)に見る如き穀粒紋のものなどである。また、底部の實物紋樣中(六六)は極めて密なる布紋である。

第五十七圖版・第五十八圖版　先史時代固有日本人の遺物

アイヌ人土器を錯へない純彌生式土器のみの發見地、卽ち固有日本人遺跡から、發掘された土器及石器を一括したものである。故に本圖に收めた石器は彌生式系に屬するものと見て差支なからう。

第三　遺跡分布地圖

第五十九圖版乃至第七十二圖版には本郡先史時代遺跡分布地圖を輯めた。これによりて吾人は本郡先史時代に於ける遺跡の配置及びその相互關係を考察し、進んでは當代民衆の文

先第一圖版

化史的位置を明にせんとするものである。

第五十八圖版　先史時代遺跡分布地圖（其一）

總圖

第五十九圖版　先史時代遺跡分布地圖（其二）

松北地方之一　大島村・山吹村・市田村・座光寺村

第六十圖版　先史時代遺跡分布地圖（其三）

松北地方之二　上郷村・飯田町・上飯田村

第六十一圖版　先史時代遺跡分布地圖（其四）

松南地方之一　駒村・松尾村

松南地方之二　下川路村・三穗村

第六十二圖版　先史時代遺跡分布地圖（其五）

松南地方之三　伊賀良村

第六十三圖版　先史時代遺跡分布地圖（其六）

松南地方之四　山本村・會地村

松南地方之五　清内路村

第六十四圖版　先史時代代遺跡布分地圖（其七）

松南地方之六　智里村

松南地方之七　伍和村

第六十五圖版　先史時代遺跡分布地圖（其八）

松南地方之八　波合村

松南地方之九　根羽村

第六十六圖版　先史時代遺跡分布地圖（其九）

阿南地方之一　下條村・富草村

阿南地方之二　大下條村

第六十七圖版　先史時代遺跡分布地圖（其十）

阿南地方之三　豐村

阿南地方之四　旦開村・神原村

第六十八圖版　先史時代遺跡分布地圖（其十一）

遠山地方之一　平岡村

遠山地方之二　八重河内村・南和田村

第六十九圖版　先史時代遺跡分布地圖（其十二）

龍東地方之一　泰阜村

龍東地方之二　泰阜村

第七十圖版　先史時代遺跡分布地圖（其十三）

龍東地方之三　龍江村・千代村・下久堅村・上久堅村

第七十一圖版　先史時代遺跡分布地圖（其十四）

龍東地方之四　喬木村・神稻村

龍東地方之五　生田村

備考　先史時代遺跡分布地圖の番號は五十九圖版より第七十二圖版に至る順序なるが讓つて第五十八圖版より起算印刷を了したるため此處には其番號に從ひたり。

圖版說明　終

（一）座光寺村大門原
（大正一三、九、七市村寫眞）

（二）市田村牛牧・鐘鑄原及天伯堂
（大正一三、九、七市村寫眞）

（三）市田原牛牧●鐵鑄原包含地
（大正一〇、五、三市村寫眞）

遺　跡（其一）

松南地方之七　伍和村
第六十五圖版　先史時代遺跡分布地圖（其八）
松南地方之八　波合村
松南地方之九　根羽村
第六十六圖版　先史時代遺跡分布地圖（其九）

備考　先史時代遺跡分布地圖の番號は五十九圖版より第七十二圖版に至る順序なるが誤つて第五十八圖版より起算印刷を了したるため此處には其番號に從ひたり。

圖版說明　終

（四）大島村元大島・宮坂
（大正一一、八、一二市村寫眞）

（五）由吹村駒場・由吹小學校近附
（大正一一、八、一三市村寫眞）

（六）上郷村下黒田・庚申原
（大正一一、四、二一市村寫眞）

遺　跡（其二）

（七）仮田町濱井町・藤山附近
（大正一三、四、一〇市村寫眞）

（八）上仮田村羽塲・湯渡
（大正一三、九、七市村寫眞）

（九）鼎村・矢高原
（大正一一、八、二〇市村寫眞）

遺　跡（其三）

先第四圖版

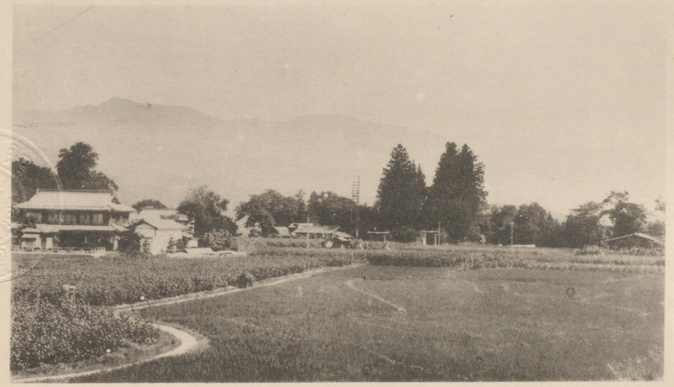
(一〇)下川路村今洞
(大正一一、六、一一市村寫眞)

(一一)伊賀良村北方・眞慶地原
(大正一一、八、五市村寫眞)

(一二)山本村山本・金堀塚
(大正一一、七、五久保田寫眞)

遺跡 (其四)

（一三）倉地村春日●向山
（大正一一、八、五市村寫眞）



（一四）伍和村備中原●宮の前
（大正一一、八、六市村寫眞）

（一五）智里村園原●サブゴヤ
（大正一〇、八、二九市村寫眞）

遺　跡　（其五）

（一六）波合村平谷・上の平
（大正一三、八、二九市村寫眞）

（一七）根羽村月瀬・日陰平
（大正一二、八、二〇市村寫眞）

（一八）下條村睦澤・クネバヤシ
（大正一二、八、六市村寫眞）

（一九）大下條村西條・田上
（大正一一、八、二市村寫）

（二〇）且開村新野・芳ヶ洞
（大正一一、八、二二市村寫）

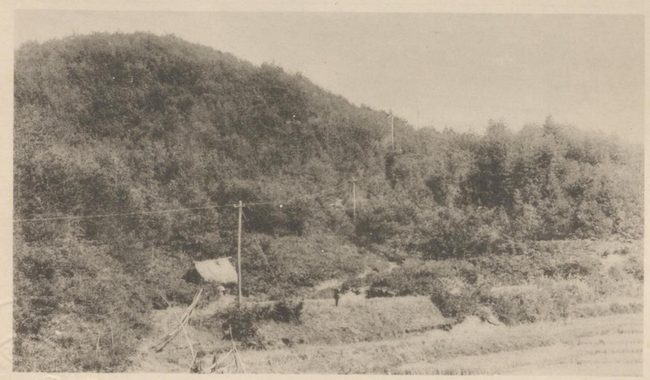
（二一）神原村向方・上の畑
（大正一一、八、二二市村寫）

(二二)木澤村・古道木(松の田・道下)
(大正一一、八、二四市村寫眞)

(二三)八重河内村・横村
(大正一一、八、二四市村寫眞)

(二四)南和田村・名古山
(大正一一、八、二四市村寫眞)

(二五)平岡村・松島
(大正一一、八、二三市村寫眞)



(二六)泰阜村金野・峠田(寺屋敷)
(大正一一、一〇、一七市村寫眞)

(二七)千代村野池・牧
(大正一一、六、六市村寫眞)

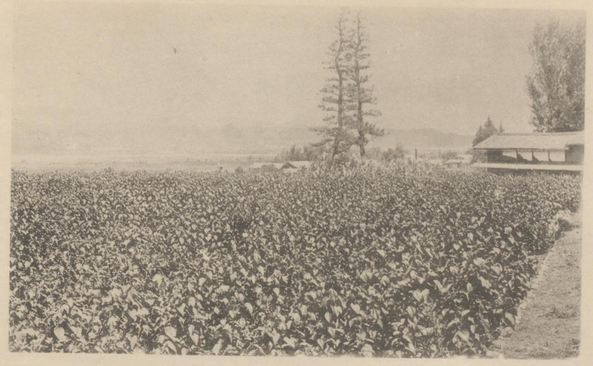
遺　跡　(其九)

(二八)上久堅村・中宮
(大正一一、八、三一 久保田寫眞)

(二九)生田村部奈
(大正一三、六、五 市村寫眞)

(三〇)神稻村・田村原
(大正一三、九、二一 市村寫眞)

遺　跡　(其十)



(三一)河野村大塚上
(大正一一、七、二七市村寫眞)

(三二)喬木村阿島城原(彌生式土器包含地)

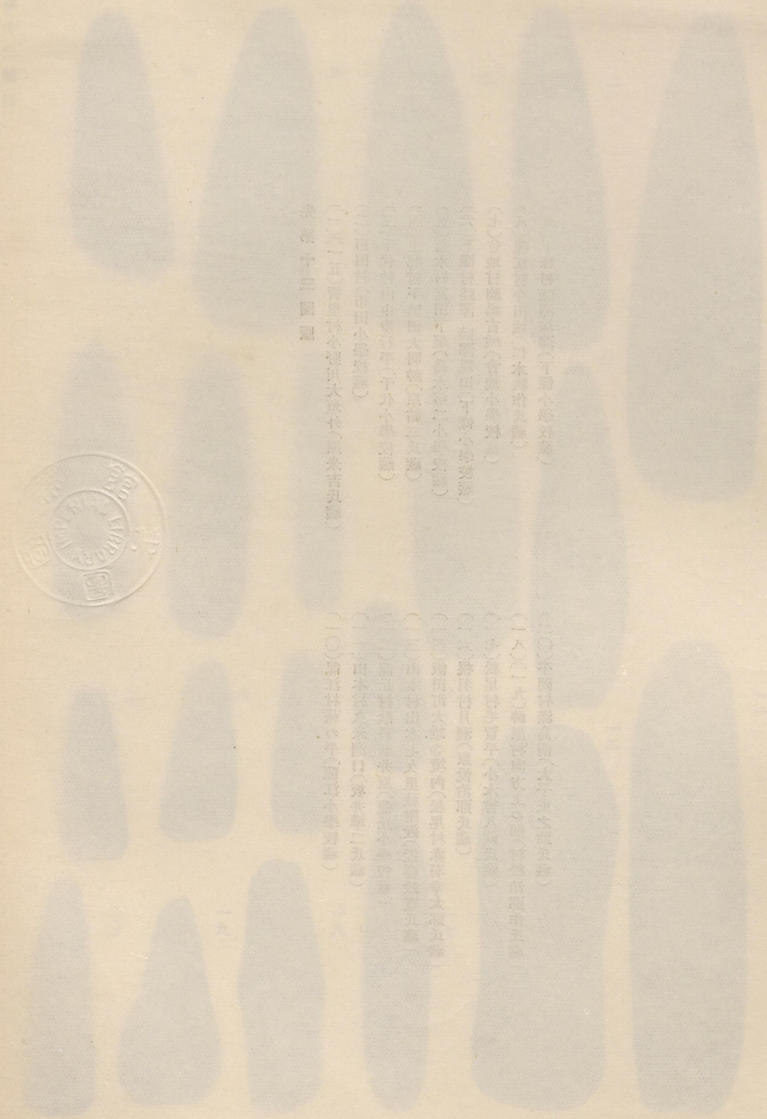
(三三)同上發掘
(大正一一、七、二八市村寫眞)

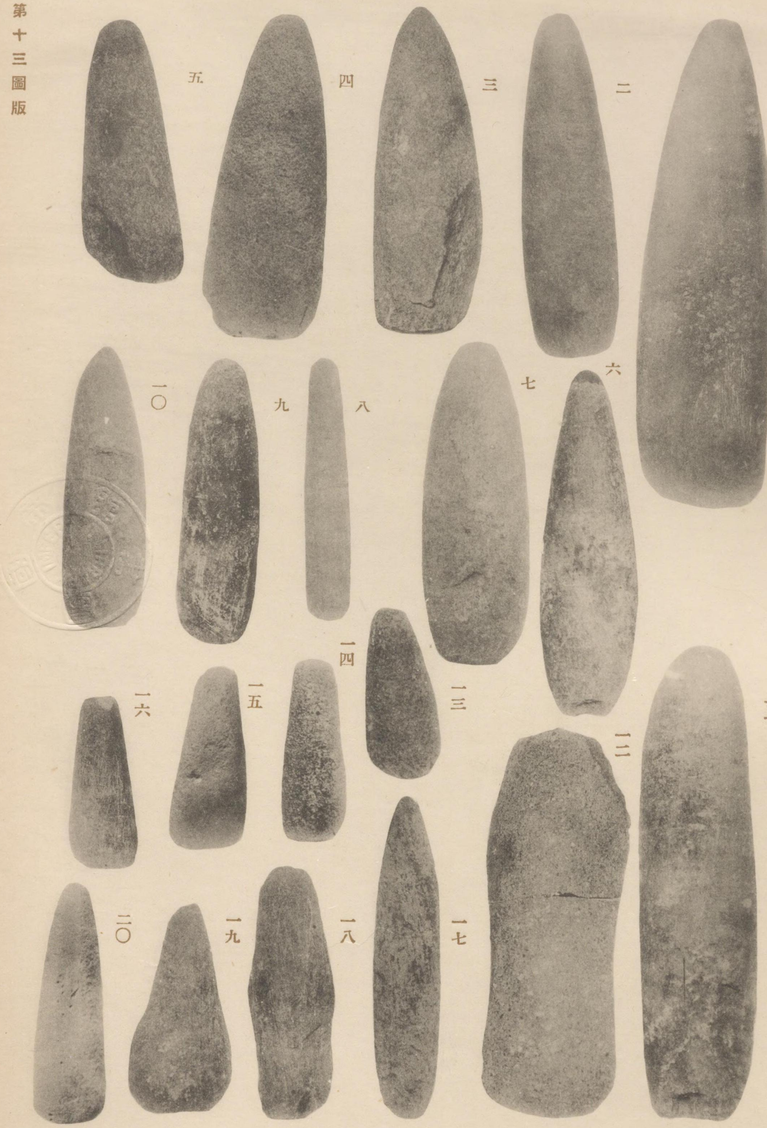
遺　跡 (其十一)

（三四）上鄉村下黒田・見城垣外（アイヌ人土器包含地）
（大正一一、四、二五市村寫眞）

（三五）喬木村喬木第一小學校庭（アイヌ人土器包含地）
（大正一一、七、二八市村寫眞）

遺　　跡（其十二）

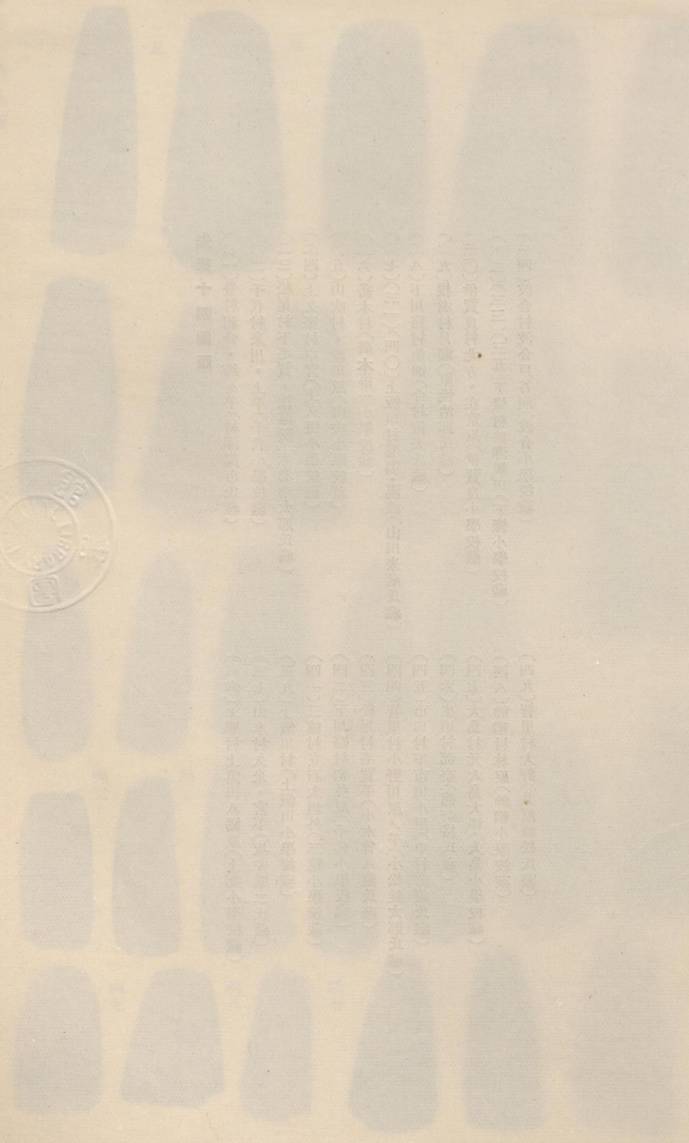




磨製石斧（其一）總て$\frac{1}{3}$

先第十三圖版

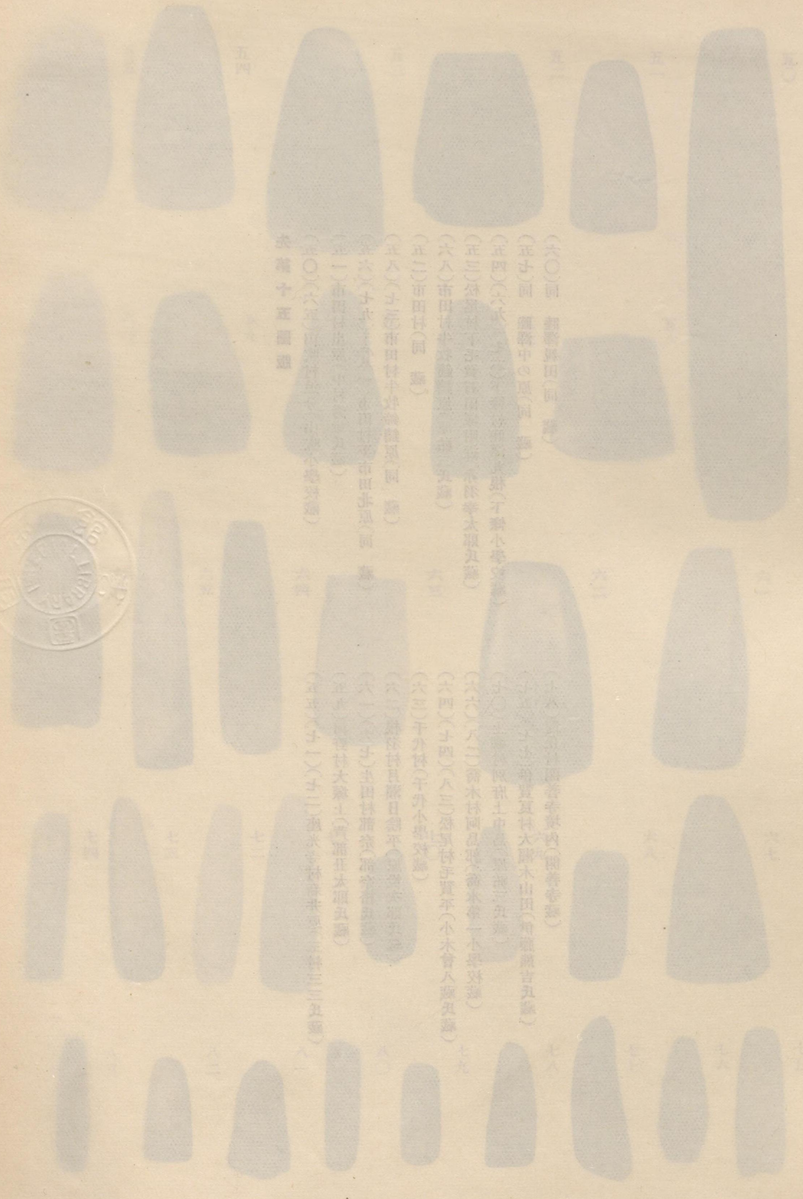
（一）（一五）智里村小野川大垣外（原米吉氏藏）
（二）市田村（市田小學校藏）
（三）千代村山中歩行平（千代小學校藏）
（四）上郷村下黒田大明神（原祐三氏藏）
（五）喬木村富田下塚（喬木第二小學校藏）
（六）下條村睦澤　睦澤親田（下條小學校藏）
（七）會地村駒場古城（會地小學校藏）
（八）龍江村今田城（仁木杭作氏藏）
（九）下條村睦澤塚澤（下條小學校藏）
（一〇）龍江村萩の平（龍江小學校藏）
（一一）山本村久米洞口（坂井準二氏藏）
（一二）龍丘村駄科新井原（龍丘小學校藏）
（一三）山本村山本七久里社附近（近藤政寛氏藏）
（一四）飯田町大雄寺境内（松尾村赤羽幸太郎氏藏）
（一六）根羽村月瀬（原悦治郎氏藏）
（一七）松尾村毛賀平（小木曾八藏氏藏）
（一八）（一九）神原村向方上の畑（村松治郎作氏藏）
（二〇）平岡村滿島南（大平東之助氏藏）



磨製石斧（其一）　總て$\frac{1}{3}$

先第十四圖版

（二一）豐村和合・鈴ケ平（村澤蕨市氏藏）
（二二）千代村米川・上平（千代小學校藏）
（二三）松尾村下毛賀・法道灣（赤羽幸太郎氏藏）
（二四）上久堅村中宮（上久堅小學校藏）
（二五）山吹村・新田原（山吹小學校藏）
（二六）喬木村（喬木第一小學校藏）
（二七）（三一）（四〇）上飯田村羽場・湯渡（山田米藏氏藏）
（二八）下川路村前畑（今村信夫氏藏）
（二九）根羽村月瀨（原悅治郎氏藏）
（三〇）伊賀良村北方・在京原（伊賀良小學校藏）
（三二）（三三）（三五）下條村睦澤親田（下條小學校藏）
（三四）波合村波合戸谷洞（波合小學校藏）
（三六）上郷村上黒田八幡原（上郷小學校藏）
（三七）山本村久米・宮下（坂井準二氏藏）
（三九）上飯田村（上飯田小學校藏）
（四一）三穗村立石大垣外（三穗小學校藏）
（四二）下川路村初免原（千代小學校藏）
（四三）松尾村毛賀平（小木曾八藏氏藏）
（四四）智里村小野川原ノ平（小松錠太郎氏藏）
（四五）市田村下市田小原（中村秀雄氏藏）
（四六）生田村部奈（部奈格氏藏）
（四七）大島村元大島大坪（大島小學校藏）
（四八）神稻村林原（神稻小學校藏）
（四九）智里村大野（井原龜松氏藏）



磨製石斧（其三）縮て$\frac{1}{2}$

先第十五圖版

（五〇）（六五）山吹村追分（山吹小學校藏）
（五一）市田村出原（中村秀雄氏藏）
（五六）（七九）—（八一）市田村下市田北原（同　藏）
（五八）（七三）市田村牛牧鑄原（同　藏）
（五二）市田村（同　藏）
（六八）市田村牛牧鑄原（原祐三氏藏）
（五三）松尾村下毛賀石田塚附近（赤羽幸太郎氏藏）
（五四）（六九）（七六）下條村睦澤丸根（下條小學校藏）
（五七）同　睦澤中の原（同　藏）
（六〇）同　睦澤親田（同　藏）
（五五）（七一）（七二）座光寺村新井原（三村三三氏藏）
（五九）河野村大塚上（芦部丑太郎氏藏）
（六一）（六七）生田村部奈（部奈格氏藏）
（六二）根羽村月瀨日陰平（原悦次郎氏藏）
（六三）千代村（千代小學校藏）
（六四）（七四）（八三）松尾村毛賀平（小木曾八藏氏藏）
（六六）（八二）喬木村阿島郭（喬木第一小學校藏）
（七〇）上郷村別府上中島（原祐三氏藏）
（七五）（七七）伊賀良村大瀬木山田（伊藤熊吉氏藏）
（七八）龍丘村開善寺境內（開善寺藏）

打製石斧（其一）總て$\frac{1}{3}$

（一）鼎村農學校附近（鼎小學校藏）（二）富草村梅田（飯田中學校藏）（三）上郷村八幡原（上郷小學校藏）（四）座光寺村大門原（座光寺小學校藏）（五）松尾村松尾小學校附近（松尾小學校藏）（六）喬木村（喬木第一小學校藏）（七）伊賀良村中村宮原（伊賀良小學校藏）（八）下川路村藤塚原（今村信夫氏藏）（九）山本村山本淨玄寺附近（山本小學校藏）（一〇）下條村陽皐・大林（下條小學校藏）（一一）生田村福與（福與小學校藏）（一二）伍和村（伍和小學校藏）（一三）山本村（近藤政寛氏藏）

第十七圖版目次

一　人山村村村

打製石斧（其二）

先第十七圖版

（一四）喬木村富田下塚（喬木第二小學校藏）
（一五）上飯田村今宮公園（飯田中學校藏）
（一六）神原村向方上の畑（村松治郎作氏藏）
（一七）（二七）伊賀良村（伊賀良小學校藏）
（一八）山吹村堺野（山吹小學校藏）
（一九）上飯田村羽場權現堂附近（上飯田小學校藏）
（二〇）松尾村毛賀濱井場（赤羽幸太郎氏藏）
（二一）同　下毛賀（松尾小學校藏）
（二二）（二九）千代村米川上平（千代小學校藏）
（二三）松尾村八幡（松尾小學校藏）
（二四）泰阜村南山（南山小學校藏）
（二五）三穗村大明神原（三穗小學校藏）
（二六）會地村春日京田原（會地小學校藏）
（二七）松尾村下毛賀田圃（赤羽幸太郎氏藏）
（三〇）下久堅村知久平內御堂（下久堅小學校藏）
（三一）同　虎岩屋敷（同　藏）
（三二）上久堅村森北の入（木下久米市氏藏）
（三三）市田村吉田南の原（市田小學校藏）
（三四）（三穗村伊豆木下市場（三穗小學校藏）
（三五）同　下瀨別所原（同　藏）
（三六）上鄕村別府上中島（原祐三氏藏）
（四〇）同　下黑田大明神原（同　藏）
（三八）下條村睦澤三臺（下條小學校藏）
（四一）山本村竹佐森林（山本小學校藏）
（四二）下久堅村知久平三圓稻荷社坂（下久堅小學校藏）
（四三）同　知久平三石（同　藏）
（四四）同　小林神社前（同　藏）

打製石斧 (其三)

(四四)(六一)市田村牛牧鑄原(市田小學校藏)(四五)泰阜村南山水の口(南山小學校藏)(四六)市田村出原(今村信夫氏藏)(四七)松尾村寺所鳥屋塲(松尾小學校藏)(四八)千代村法全寺室屋(千代小學校藏)(四九)龍江村今田石原(龍江小學校藏)(五〇)下條村睦澤阿知原若宮坂(下條小學校藏)(五一)同　阿知原小原(同　藏)(五二)山本村久米馬塚平(坂井準二氏藏)(五三)下川路村今洞(今村信夫氏藏)(五四)三穗村梨洞上の平(土屋巽氏藏)(五五)山本村竹佐森林(山本小學校藏)(五六)生田村部奈(五七)松尾村毛賀照月庵附近(松尾小學校藏)(五八)上久堅村森北の入(木下久米市氏藏)(五九)波合村波合宮の原(波合小學校藏)(六〇)大島村元大島宗源原(大島小學校藏)

打製石斧 (其四)

(六二)龍丘村駄科安宅(龍丘小學校藏) (六三)(七一)龍江村今田城(仁木秋作氏藏) (六四)松尾村毛賀宮原諏訪社境內(赤羽幸太郎氏藏) (六五)伊賀良村大瀨木火振原(伊賀良小學校藏) (六六)下川路村圃平屋平(下川路小學校藏) (六七)龍江村今田龍江小學校附近(龍丘小學校藏) (六八)(七一)上鄉村別府上中島(原祐三氏藏) (六九)(七二)(七三)龍丘村長野原(龍丘小學校藏) (七〇)木澤村古道木(木澤小學校藏) (七四)山吹村道分(山吹小學校藏) (七六)同 八日市場(同 藏) (七七)上鄉村(上鄉小學校藏)

(五其) 斧石製打

村中)原北田市下村田市(一八) (藏校學小一第木喬)村木喬(〇八) (藏校學小丘龍)山金路川上村丘龍(九七)岡高村寺光座(四八) (藏校學小鼎)村鼎(三八) (藏氏郎太幸羽赤)圓田賀毛下村尾松(五八)(二八) (藏氏雄秀松)所寺村尾松(八八) (藏氏三祐原)島中上　同(七八) (藏校學小鄉上)村鄉上(六八) (藏校學小寺光座)近附大(一九) (藏校學小鄉上)原神明大田黑下村鄉上(〇九) (藏氏夫信村今)原塚藤村路川下(九八) (藏校學小尾島大村島原堤島大(藏校學小島大)原

打製石斧（其六）總て$\frac{1}{3}$

村野河(四九)（藏氏市来久下木)入の北 森村堅久上(三九)（藏氏博雅内牧)原神明大村路川下(二九)小寺光座)原門大村寺光座(六九)（藏校學小田市)原鑄鐘牧牛村田市(五九)（藏校學小野河)近附宮大市(九九)（藏校學小丘龍)原塚下林桐村丘龍(八九)（藏氏助之東平大)南 島滿村岡平(七九)（藏校學(集氏安井酒)原田角田市下村田

先第二十二圖版

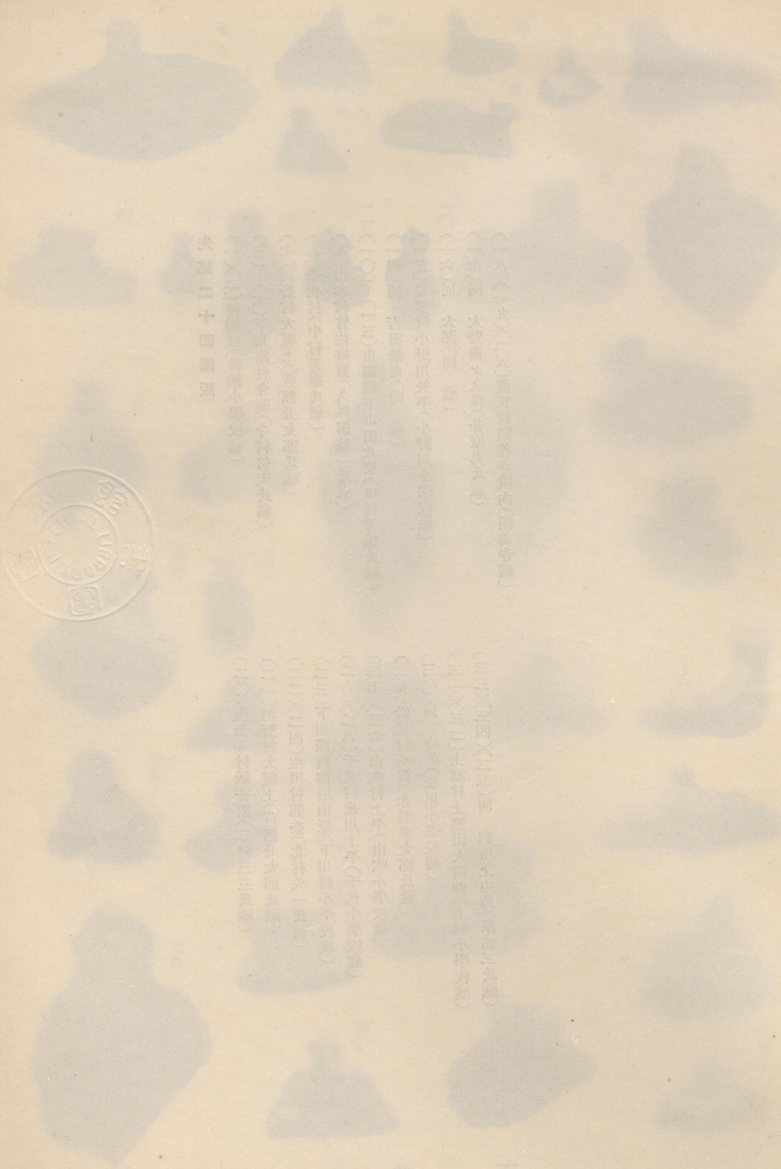
打製石斧 (其七)

獨鈷石 (八)(九)は $\frac{1}{1}$ 他は $\frac{1}{2}$

(一)龍丘村(龍丘小學校藏) (二)—(四)(八)座光寺村大門原(座光寺小學校藏) (五)上郷村下黒田見城垣外(上郷小學校藏) (六)(七)市田村下市田 北原(中村秀雄氏藏) (九)(一〇)上郷村別府上中島(原祐三氏藏)

(一)市田村出原(上伊那郡中澤小學校藏)
(二)上郷村下黒田見城垣外(上郷小學校藏)
(三)大島村元大島南方的ケ平(大島小學校藏)
(四)同　大島桑園(同　藏)
(五)下川路村正清寺附近(今村信夫氏藏)
(六)(七)(八)同村今洞(同　藏)
(九)同村大明神原(同　藏)

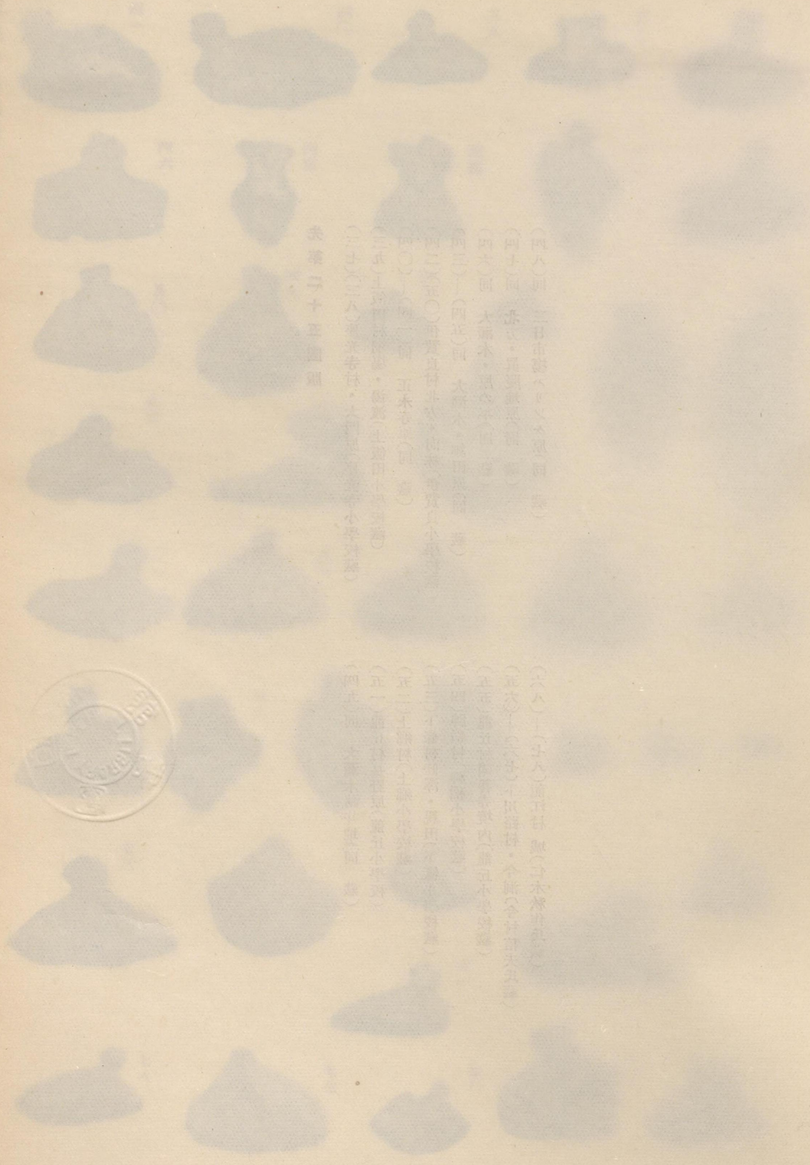
發掘具・紡錘車・圓形石器總て$\frac{1}{2}$



石　匙　（其一）

先第二十四圖版

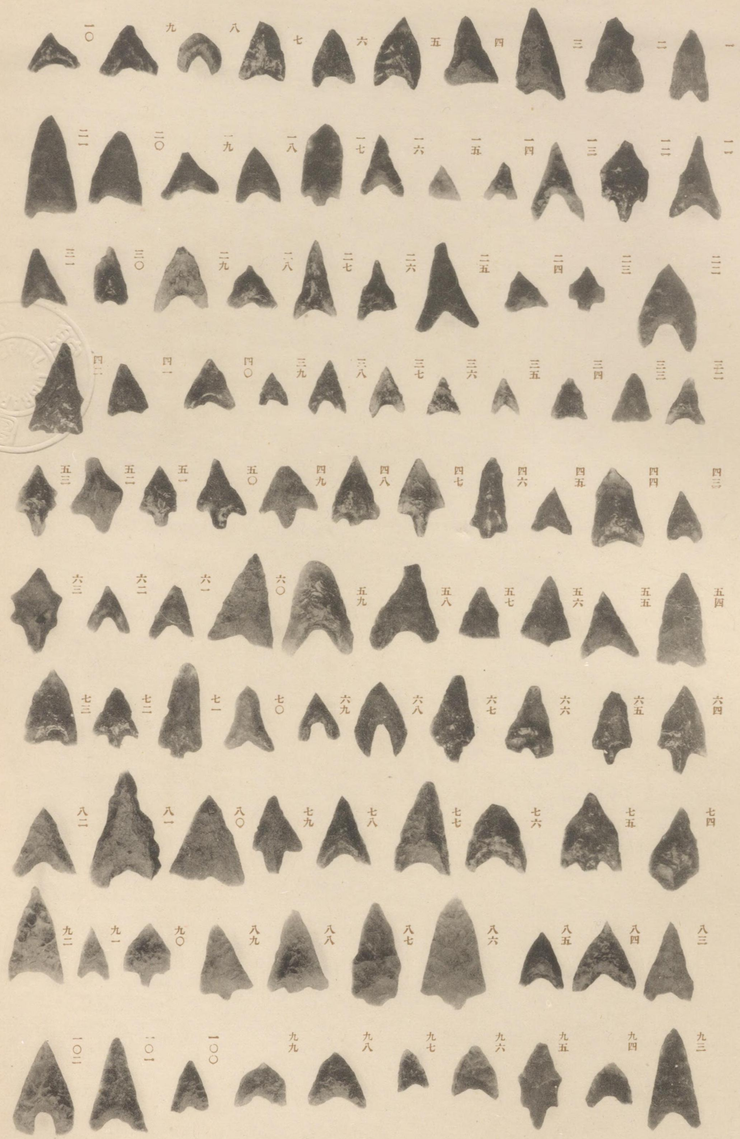
（一）（二）神稻村（神稻小學校藏）
（三）―（六）下川路村今洞（今村信夫氏藏）
（七）河野村大塚上（芦部丑太郎氏藏）
（八）千代村（中村秀雄氏藏）
（九）山本村竹佐杵原（久保田稼一氏藏）
（一〇）―（一三）市田村下市田北原（中村秀雄氏藏）
（一四）同　吉田清東（同　藏）
（一五）智里村小野川矢平（小野川小學校藏）
（一六）同　大澤（同　藏）
（一七）同　大野梅ヶ久保（井原勇氏藏）
（一八）（一九）（二五）龍丘村開善寺境内（開善寺藏）
（二〇）座光寺村新井原（三村三三氏藏）
（二一）河野村大塚上（芦部丑太郎氏藏）
（二二）（二四）生田村部奈（北村英一氏藏）
（二三）下川路村御射山原（下川路小學校藏）
（二六）（二八）千代村米川上平（千代小學校藏）
（二七）（三六）山吹村上平（山吹小學校藏）
（二九）松尾村毛賀（赤羽幸太郎氏藏）
（三〇）同　寺所（松尾小學校藏）
（三一）（三三）上郷村上黒田大明神（上郷小學校藏）
（三三）（三四）（三五）同　別所上中島（原祐三氏藏）



石匙（其二）總て $\frac{1}{2}$

先第二十五圖版

（三七）（三八）座光寺村・大門原（座光寺小學校藏）
（三九）上飯田村羽場・湯渡（上飯田小學校藏）
（四〇）—（四一）同　正永寺原（同　藏）
（四二）（五〇）伊賀良村北方・向林（伊賀良小學校藏）
（四三）—（四五）同　大瀨木・細田原（同　藏）
（四六）同　大瀨木・原の平（同　藏）
（四七）同　北方・眞慶地原（同　藏）
（四八）同　三日市場ハリツケ原（同　藏）
（四九）同　大瀨木請非地（同　藏）
（五一）龍丘村長野原（龍丘小學校）
（五二）上郷村（上郷小學校藏）
（五三）下條村陸澤・親田（下條小學校藏）
（五四）神稻村（神稻小學校藏）
（五五）龍丘村開善寺境內（龍丘小學校藏）
（五六）—（六七）下川路村・今洞（今村信夫氏藏）
（六八）—（七八）龍江村　城（仁木秋作氏藏）

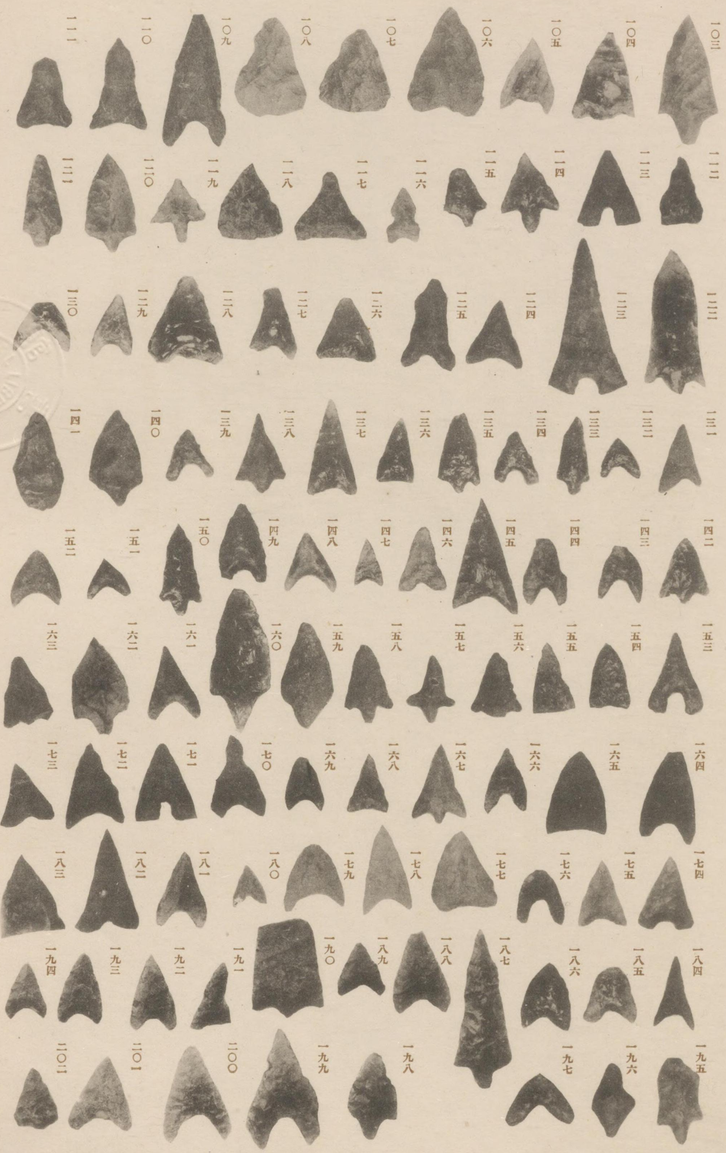


石　鏃（其一）　總て$\frac{2}{3}$

先第二十六圖版

（一）―（八）山本村山本金堀塚（山本小學校藏）
（九）―（一〇）山本村竹佐杵原（同　藏）
（一一）―（一二）龍江村（龍江小學校藏）
（一三）―（一三一）上郷村別府上中島（原祐三氏藏）
（一三三）―（一三五）同　下黒田大明神（同　藏）
（一三六）―（一三七）下篠村合原（下篠小學校藏）
（一三八）同　北又（同　藏）
（一三九）同　入野（同　藏）
（一四〇）―（一四一）同　吉岡（同　藏）
（一四二）―（一四三）同　鎭西大山田神社境内（同　藏）
（一四四）―（一四八）同　陸澤クネ林（同　藏）
（一四九）―（一五一）同　丸根（同　藏）
（一五二）―（一五六）同　陽皐上の原（同　藏）
（一五七）―（一五三）上阪田村羽場湯渡（上阪田小學校藏）

（一六四）―（一六六）伊賀良村大瀬木請井地（代田太一氏藏）
（一六七）―（一七〇）伊賀良村大瀬木源氏垣外（代田實穗氏藏）
（一七一）―（一七三）伊賀良村三日市場ハリック原（伊賀良小學校藏）
（一七四）（一七六）伊賀良村大瀬木原の半（同　藏）
（一七七）―（一七九）同　北方在京原（同　藏）
（一八〇）山本村山本馬捨場（久保田稼一氏藏）
（一八一）同　竹佐森林（同　藏）
（一八二）―（一八五）同　竹佐杵原（同　藏）
（一八六）（一八七）座光寺村（座光寺小學校藏）
（一八八）―（一九二）座光寺村新井原（三村三三氏藏）
（一九三）三穗村梨洞上の平（土屋榮氏藏）
（一九四）―（一九七）松尾村毛賀（赤羽幸太郎氏藏）
（一九八）―（二〇二）生田村部奈（北村英一氏藏）



石　鏃（其二）　總て$\frac{2}{3}$

先第二十七圖版

（一〇三）市田村大島山瀧附近（伊賀良村平田儀三郎氏藏）
（一〇四）—（一〇八）伊賀良村中村（同　藏）
（一〇九）—（一一五）山本村山本金堀塚（近藤政寛氏藏）
（一一六）—（一一二）下川路村今洞（牧内雅博氏藏）
（一一三）—（一三〇）大島村元大島籔原（大島小學校藏）
（一三一）—（一三三）同　宗源原（同　藏）
（一三四）同　大島南桑（同　藏）
（一三五）（一三六）大島村（同　藏）
（一三七）—（一四一）松尾村毛賀（松尾小學校藏）
（一四二）—（一四六）市田村（市田小學校藏）
（一四七）—（一五二）座光寺村（座光寺小學校藏）
（一五三）龍丘村（龍丘小學校藏）
（一五四）—（一六〇）市田村牛牧鐘鑄原（中村秀雄氏藏）
（一六一）（一六二）生田村部奈（原祐三氏藏）
（一六三）—（一六六）上郷村下黒田大明神原（原祐三氏藏）
（一六七）—（一六九）伊賀良村北方眞慶地原（木下多賀太郎氏藏）
（一七〇）同　宮の上（同　藏）
（一七一）同　能化（同　藏）
（一七二）同　北の原（同　藏）
（一七三）同　大瀬木藤塚原（同　藏）
（一七四）—（一七六）伊賀良村中村（平田儀三郎氏藏）
（一七七）—（一八〇）旦開村（旦開小學校藏）
（一八一）—（一八三）會地村京田原（會地小學校藏）
（一八四）（一八五）鼎村山洞（鼎小學校藏）
（一八六）千代村（千代小學校藏）
（一八七）智里村小野川藤の戸（小野川小學校藏）
（一八八）—（一九〇）同　北澤（同　藏）
（一九一）—（一九四）同　大野梅ヶ久保（同　藏）
（一九八）（一九九）同　小野川原の平（同　藏）
（二〇〇）—（二〇二）同　川端（同　藏）
（一九五）—（一九七）下川路村今洞（今村信夫氏藏）

石鏃（其三）

石錐

石鏃

先第二十八圖版

（二〇三）―（二〇五）智里村小野川大垣外（小野川小學校藏）
（二〇六）―（二〇八）大島村元大島佃込（堀木音吉氏藏）
（二〇九）河野村大塚上（竹村太郎氏藏）
（二一〇）―（二一一）喬木村伊久間原堀垣外（喬木第一小學校藏）
（二一二）大島村大島南桑（大島小學校藏）
（二一三）（二一四）（二一四五）―下條村睦澤小原（下條小學校藏）
（二一五）―（二三〇）下川路今洞（今村信夫氏藏）
（二三六）―（二四〇）神稻村（神稻小學校藏）
（二四六）―（二五一）河野村大塚上（吾部丑太郎氏藏）
（二五二）（二五三）市田村下市田北原（中村秀雄氏藏）
（二五四）同　小原（同　藏）
（二五五）同　牛牧鑪鑄原（同　藏）
（二五六）智里村小野川原の平（小野川小學校藏）
（二五七）―（二六〇）下川路村今洞（今村信夫氏藏）
（二六一）―（二六三）上飯田村羽場湯渡（上飯田小學校藏）
（二六四）上郷村別府上中島（原祐三氏藏）
（二六五）―（二六八）市田村下市田北原（中村秀雄氏藏）
（二六九）下條村睦澤クネ林（下條小學校藏）
（二七〇）座光寺村（座光寺小學校藏）
（二七一）―（二七三）上郷村下黒田大明神原（原祐三氏藏）
（二七四）上郷村別府上中島（原祐三氏藏）
（二七五）―（二八三）下川路村今洞（今村信夫氏藏）

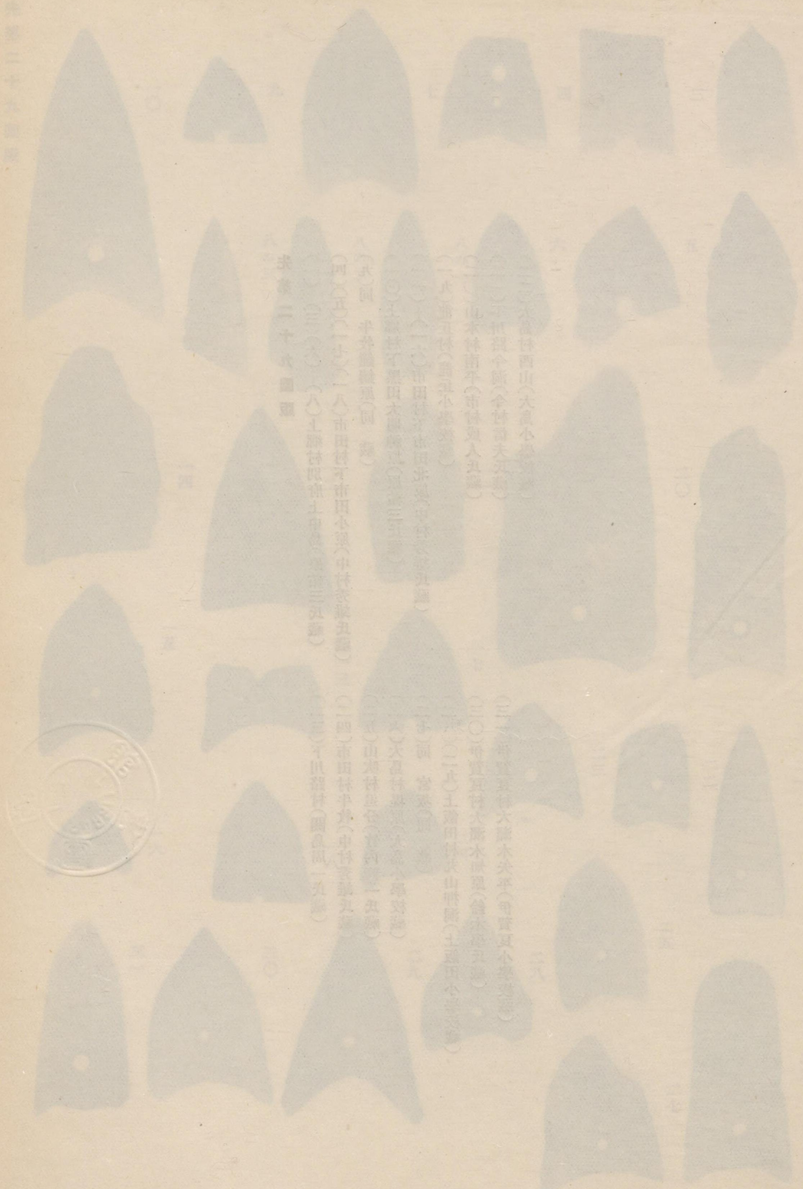
以　上　23

（二八四）上郷村別府上中島（原祐三氏藏）
（二八五）山吹村北林（山吹小學校藏）
（二八六）下條村睦澤クネハヤシ（下條小學校藏）
（二八七）下川路村今洞（今村信夫氏藏）

以　上　13

（二八八）下條村睦澤小原（下條小學校藏）
（二八九）智里村大野向山（原米吉氏藏）

以　上　23



先第二十九圖版

磨製石鏃　總て實大

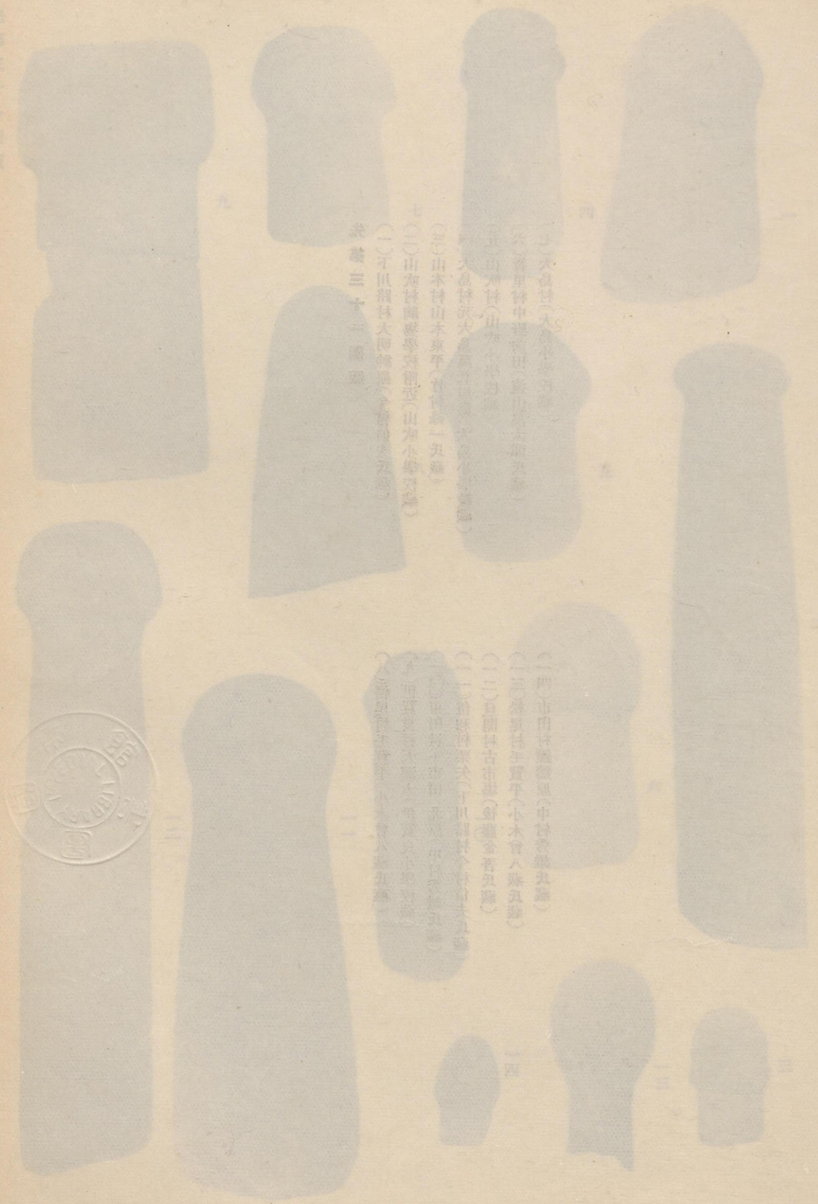
先第二十九圖版

(一)―(三)(六)―(八)上郷村別府上中島(原祐三氏藏)
(四)(五)(一七)(一八)市田村下市田小原(中村秀雄氏藏)
(九)同　牛牧鐘鑄原(同　藏)
(一〇)上郷村下黒田大明神原(原祐三氏藏)
(一一)―(一六)市田村下市田北原(中村秀雄氏藏)
(一九)龍丘村(龍丘小學校藏)
(二〇)山本村南平(市村成人氏藏)
(二一)下川路令洞(令村信夫氏藏)
(二二)大島村西山(大島小學校藏)
(二三)下川路村(關島周一氏藏)
(二四)市田村牛牧(中村秀雄氏藏)
(二五)山吹村追分(竹内修一氏藏)
(二六)大島村堤原(大島小學校藏)
(二七)同　宮坂(同　藏)
(二八)(二九)上飯田村丸山押洞(上飯田小學校藏)
(三〇)伊賀良村大瀬木知原(鈴木學氏藏)
(三一)伊賀良村大瀬木矢平(伊賀良小學校藏)

先第三十圖版

石劍　(一)は $\frac{1}{4}$ 他は總て $\frac{1}{3}$

(一)平岡村滿島南(大平東之助氏藏)(二)(三)(四)上飯田村湯渡(上飯田小學校山田米藏氏藏)(五)松尾村上毛賀平(小木曾慶藏氏藏)(六)波合村波合捕手(松下作太郎氏藏)(七)會地村春日中原(會地小學校藏)(八)根羽村月瀬(原悅治郎氏藏)(九)(一〇)(一一)神原村向方上の畑(村松治郎作氏藏)



石棒 總て$\frac{1}{4}$

先第三十一圖版

(一)下川路村大明神原(今村信夫氏藏)
(二)山吹村駒塲學校附近(山吹小學校藏)
(三)山本村山本東平(竹村錄一氏藏)
(四)大島村元大島萬代屋敷(大島小學校藏)
(五)山吹村(山吹小學校藏)
(六)智里村中野前田(遠山萬太郎氏藏)
(七)大島村(大島小學校藏)
(八)松尾村毛賀平(小木曾八藏氏藏)
(九)伊賀良村大瀨木(伊賀良小學校藏)
(一〇)市田村下市田 北原(中村秀雄氏藏)
(一一)伍和村栗矢(下川路村今村信夫氏藏)
(一二)日開村古市場(後藤金吾氏藏)
(一三)松尾村毛賀平(小木曾八藏氏藏)
(一四)市田村鐘鑄原(中村秀雄氏藏)

二・生田村 $\frac{1}{4}$（唐澤眞一氏藏）

一・市田村牛牧鐘鑄原 $\frac{1}{4}$
（市田小學校藏）

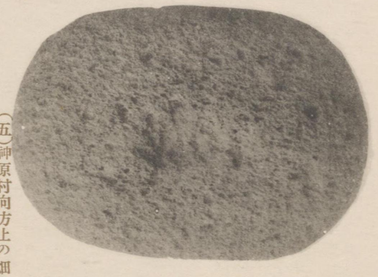
三、喬木村阿島城本屋 $\frac{1}{4}$
（豐口常治郎氏藏）

四、龍丘村駄科城陸 $\frac{1}{3}$
（下平又吉氏藏）

五・山本村箱川原 $\frac{1}{4}$（太田實三氏藏）

石　皿

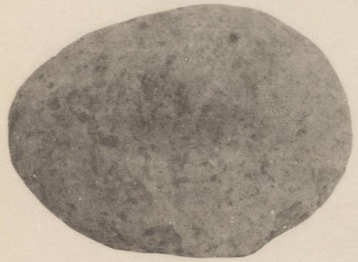
（一）下川路村今洞
（今村信夫氏藏）



（二）智里村園原藥師平
（熊谷善作氏藏）

（三）平岡村下山

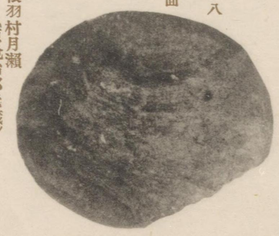
（四）上鄉村下黑田見城垣外（上鄉小學校藏）



（五）神原村向方上の畑
（村松治郎作氏藏）

（六）龍江村太田
（龍江小學校藏）

（九）根羽村月瀨
（原悅治郎氏藏）



（七）の底面　八

七

（七）（八）大下條村早稻田
（大下條小學校藏）

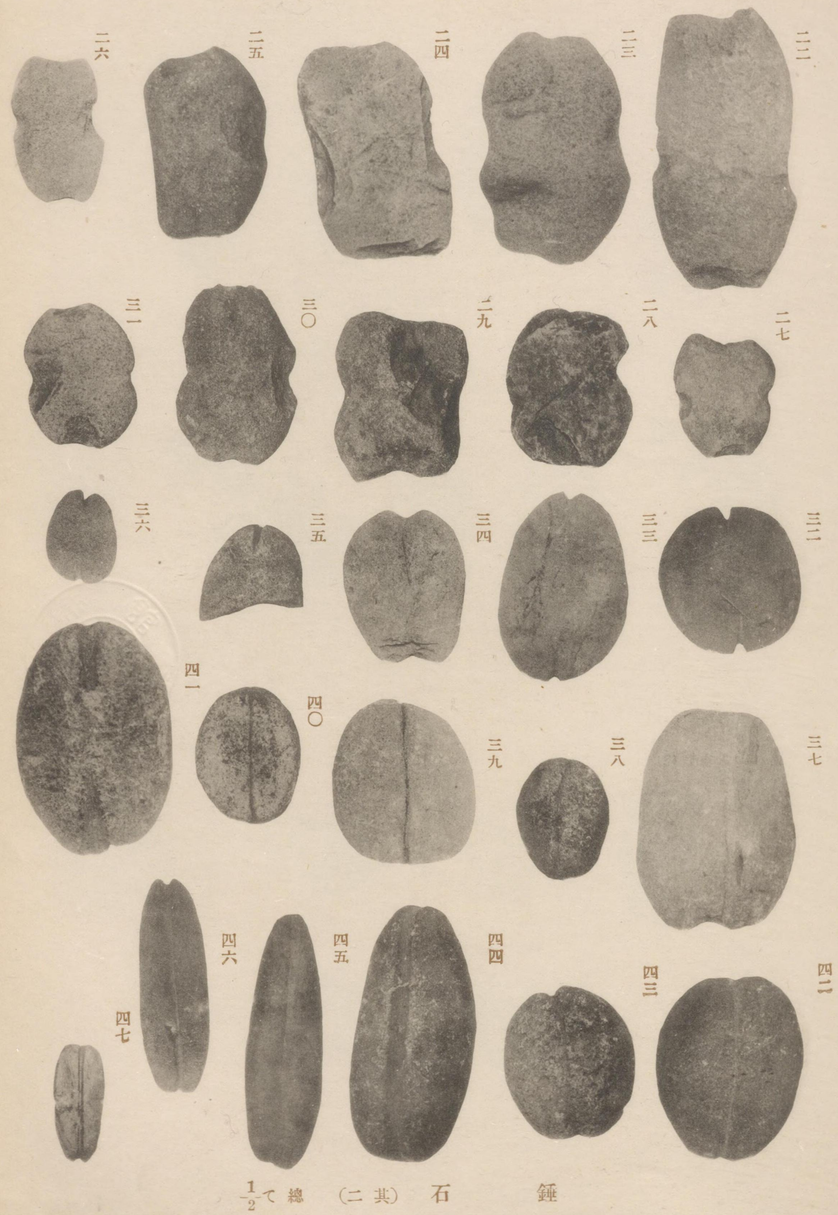
冠石總て　1/2

先第三十四圖版

石　錘　(其一)總て$\frac{1}{2}$

先第三十四圖版

(一七)市田村下市田北原(中村秀雄氏藏)
(一二)松尾村下毛賀田圓(赤羽幸太郎氏藏)
(三)龍丘村駄科(同　藏)
(四)(五)(八)(一五)上郷村別府上中島(原弘三氏藏)
(六)生田村部奈(編與小學校藏)
(九)喬木村阿島郭(喬木小學校藏)
(一〇)山吹村丸山(山吹小學校藏)
(一一)龍江村(龍江小學校藏)
(一二)伊賀良村下殿岡下原(代田太一氏藏)
(一三)(一六)(一八)(二〇)(二一)座光寺村大門原(座光寺小學校藏)
(一四)市田村下市田土井山(中村秀雄氏藏)
(一七)伊賀良村大瀬木源氏垣外(代田太一氏藏)
(一九)千代村法全寺室屋(千代小學校藏)

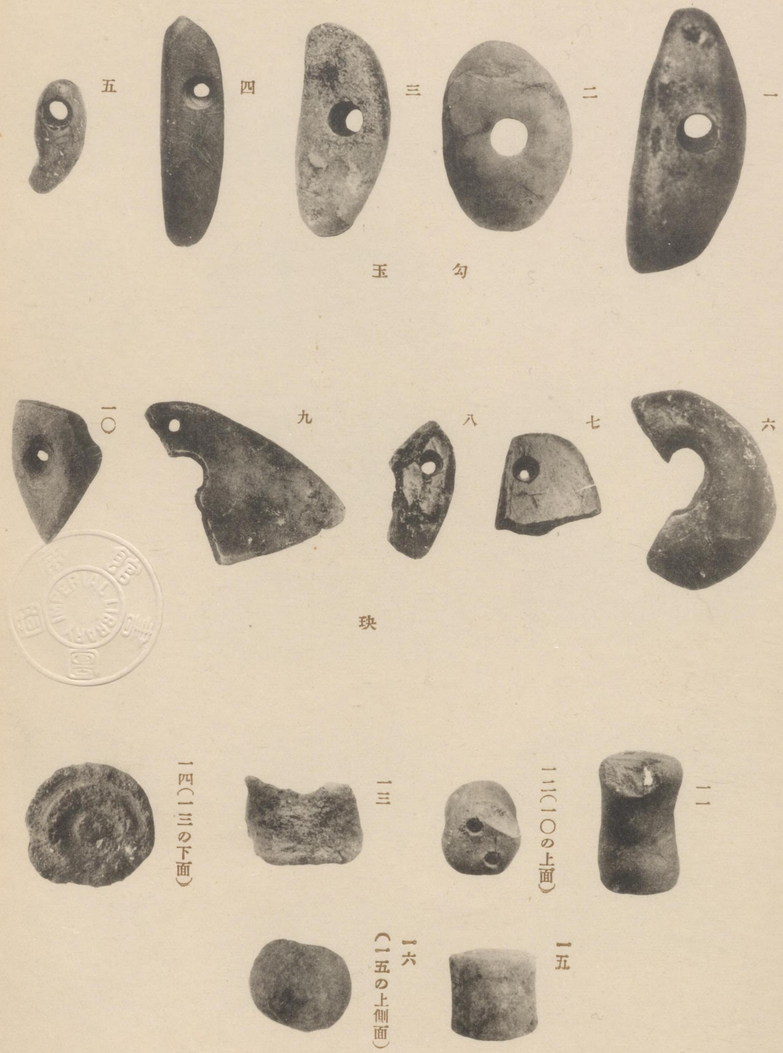


石（其二）　總て$\frac{1}{2}$　　鍾

先第三十五圖版

（二二）山吹村郷頭（山吹小學校藏）
（二三）上郷村別府上中島（原祐三氏藏）
（二四）座光寺村大門原（座光寺小學校藏）
（二五）（二九）喬木村阿島郭（喬木第一小學校藏）
（二六）座光寺村新井原（三村三三氏藏）
（二七）市田村牛牧鐘鑄原（中村秀雄氏藏）
（二八）上郷村上黒田八幡原（上郷小學校藏）
（三〇）市田村吉田清東（中村秀雄氏藏）
（三一）市田村下市田北原（同　藏）
（三二）座光寺村大門原（代田弘司氏藏）
（三三）（三六）上郷村下黒田大明神原（原祐三氏藏）
（三四）下條村睦澤丸根（下條小學校藏）
（三五）市田村大島山瑠璃寺南方の畑（中村秀雄氏藏）
（三七）千代村法全寺室屋（千代小學校藏）
（三八）座光寺村（座光寺小學校藏）
（三九）下條村睦澤クネハヤシ（下條小學校藏）
（四〇）市田村（市田小學校藏）
（四一）上飯田村羽場湯渡（上飯田小學校藏）
（四二）（四四）會地村曾山三本木（會地小學校藏）
（四三）伊賀良村大瀧木火振原（代田勇治氏藏）
（四五）市田村下市田小原（中村秀雄氏藏）
（四六）山本村山本石行（山本小學校藏）
（四七）伊賀良村下殿岡下原（代田太一氏藏）

先第三十六圖版



裝飾用土製品

裝飾品 總て $\frac{1}{1}$

(一)大島村元大島大坪(大島小學校藏)(二)伊賀良村北方伊京(三)浦林藏氏藏)(三)喬木村阿島郭(喬木第一小學校藏)(四)座光寺村新屋敷(片桐七郎氏藏)(五)下條村睦澤ハイノソラ(串原銀太郎氏藏)(六)伊賀良村北方在京原(宮下一郎氏藏)(七)(八)下川路村今洞(今村信夫氏藏)(九)市田村牛牧鑄鐘原(中村秀雄氏藏)(一〇)(九)座光寺村大門原(吉川庄作氏藏)(一一)(一二)山本村山本湯川(山本小學校藏)(一三)(一四)同山本金堀塚(同藏)(一五)(一六)喬木村阿島郭(喬木第一小學校藏)

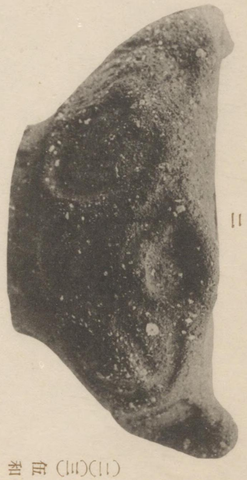
石　庖　丁　總て$\frac{1}{2}$

小)平賀毛　同(四)(三)(藏氏耶太丑田代)近附塚田石賀毛村尾松(二)(藏氏雄秀村中)塲市　村田村稻神(一)原澤唐田市下　同(三一)(六)(藏氏雄秀村中)原鑄鐘牧牛村田市(七一)(五)(藏氏兩耶太丑田代●藏八菅木藏法村鼎)科駄村丘龍(〇一)(藏校學小寺光座)原門大村寺光座(九)(八)(七)(藏氏博雅內牧●氏雄秀村中)大田黑上村鄉上(四一)(藏氏門衞源藤加)林北村吹山(八一)(二一)(藏校學小丘龍)原塚　同(一一)(藏寺(藏　同)原北　同(六一)(藏氏雄秀村中)原小田市下村田市(五一)(藏氏三祐原)原神明

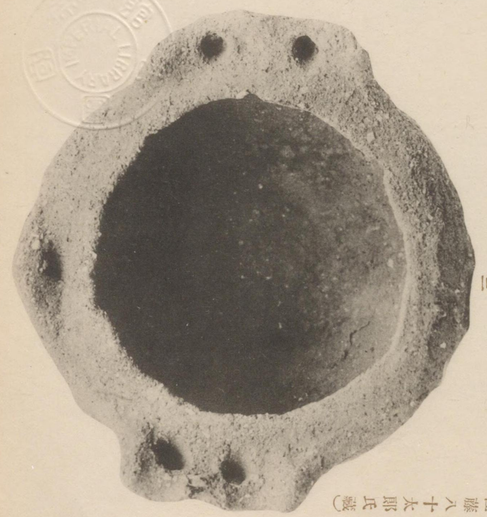
先第三十八圖版

一

(一)上郷村下黒田見城垣外 $\frac{1}{3}$ (上郷小學校藏)



二



三

(二)(三)伍和村河内壕本約 $\frac{1}{2}$ (佐藤八十太郎氏藏)

(一 其) 器土派手厚八ヌイア

面上の(二)

先第三十九圖版

アイヌ人厚手派土器（其二）約$\frac{1}{3}$

（一）（二）（三）（四）喬木村阿島郭（喬木第一小學校藏）（五）千代村法全寺寺屋敷（千代小學校藏）（六）喬木村富田（喬木第二小學校藏）（七）（八）山吹村新田原（山吹小學校藏）（九）上郷村下黑田見城垣外（田中五市氏藏）（一〇）座光寺村新井原第四古墳附近（座光寺小學校藏）

先第四十圖版

アイヌ人厚手派土器（其三）

（一一）河野村中芝（安田菊太郎氏藏）（一二）千代村法全寺寺屋敷（千代小學校藏）（一三）下條村睦澤ホウノト（下條小學校藏）（一四）（一五）上郷村上黒田八幡原（上郷小學校藏）（一六）山本村山本金堀塚（近藤政寛氏藏）（一七）河野村大塚上（芦部丑太郎氏藏）（一八）大島村大島羽塲（大島小學校藏）（一九）上郷村別府上中島（原祐三氏藏）（二〇）伊賀良村北方上平（伊賀良小學校藏）（二一）同　盧漬原（同　藏）（二二）市田村牛牧鐘鑄原（市田小學校藏）（二三）上郷村下黒田見城垣外（田中五市氏藏）

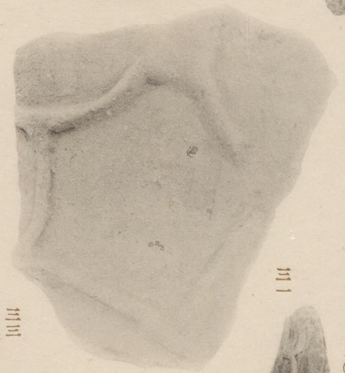
二七

二五

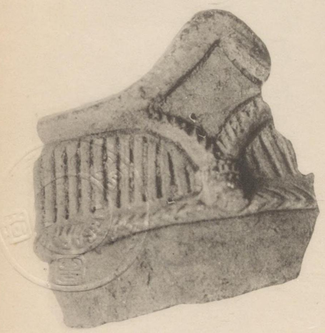
二六

二四

三二


三一

二八


三三

三〇

二九

三六

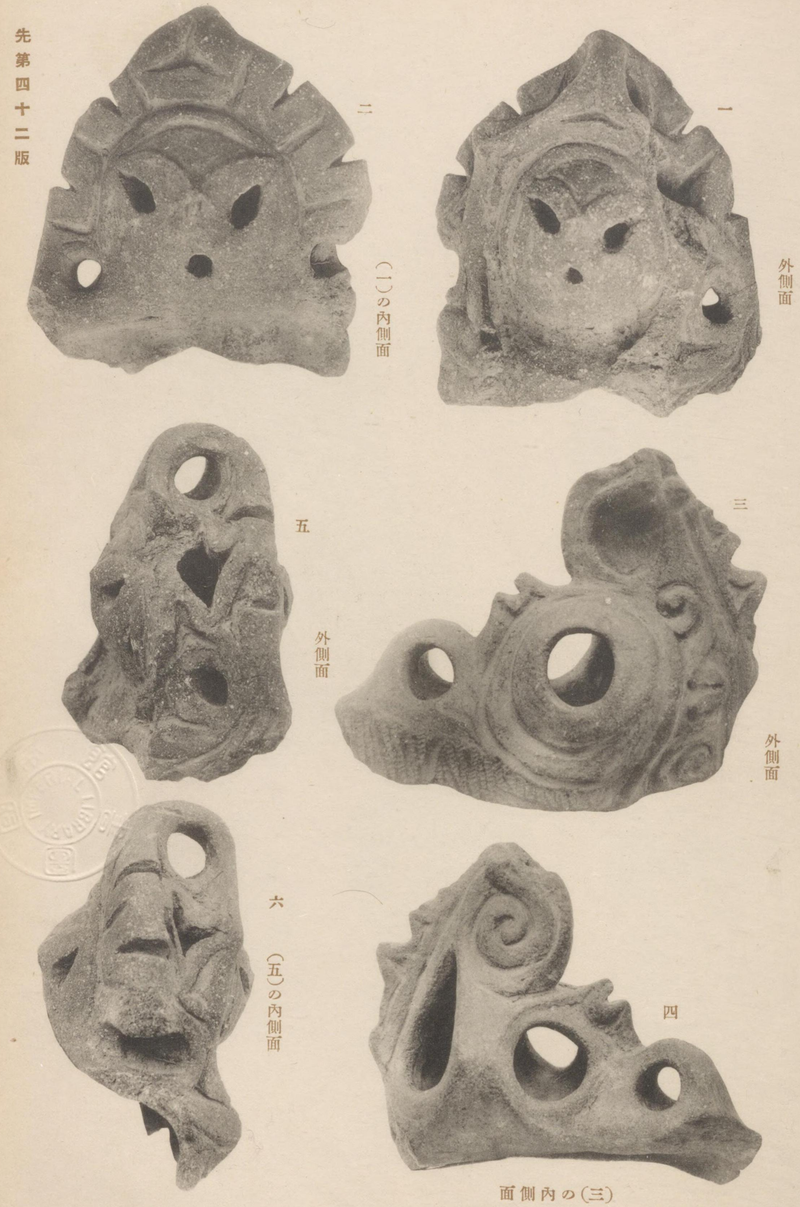
三五

三四

アイヌ人厚手派土器（其四）

熊古名村鼎（七二）（藏校學小鄉上）外垣城見田黑下村鄉上（八二）（五二）（藏寺來如）近附岡高村寺光座（四二）（二三）（藏校學小地會）田前日春村地會（一三）（藏校學小吹山）揚駒村吹山（〇三）（九二）（藏校學小鼎）鳶羽太丑部芦）上塚大村野河（四三）（藏校學小島大）上水島大元村島大（三三）（藏校學小寺光座）原井新村寺光座（藏氏耶）（三五）（六三）上鄉別村府上中島（原藏氏三祐）

先第四十二版



(一)(二)市田村吉田古城(市田小學校藏) (三)(四)同 (同) (五)(六)市田村(同)

アイヌ人厚手派土器(其五・把手)總て $\frac{2}{3}$

九、座光寺村新井原（吉川庄作氏藏）

八、（七）の横面

七、上郷村別府上中島（外側面）（原祐三氏藏）

一一、河野村大塚上（芦部壮太郎氏藏）

一二、（一一）に同じ

一〇、喬木村（喬木第一小學校藏）

一三

伊賀良村北方墟濱原（伊賀良小學校藏）

ア イ ヌ 人 厚 手 派 土 器（其六●把手）（一〇）は$\frac{1}{3}$他は總て$\frac{1}{2}$

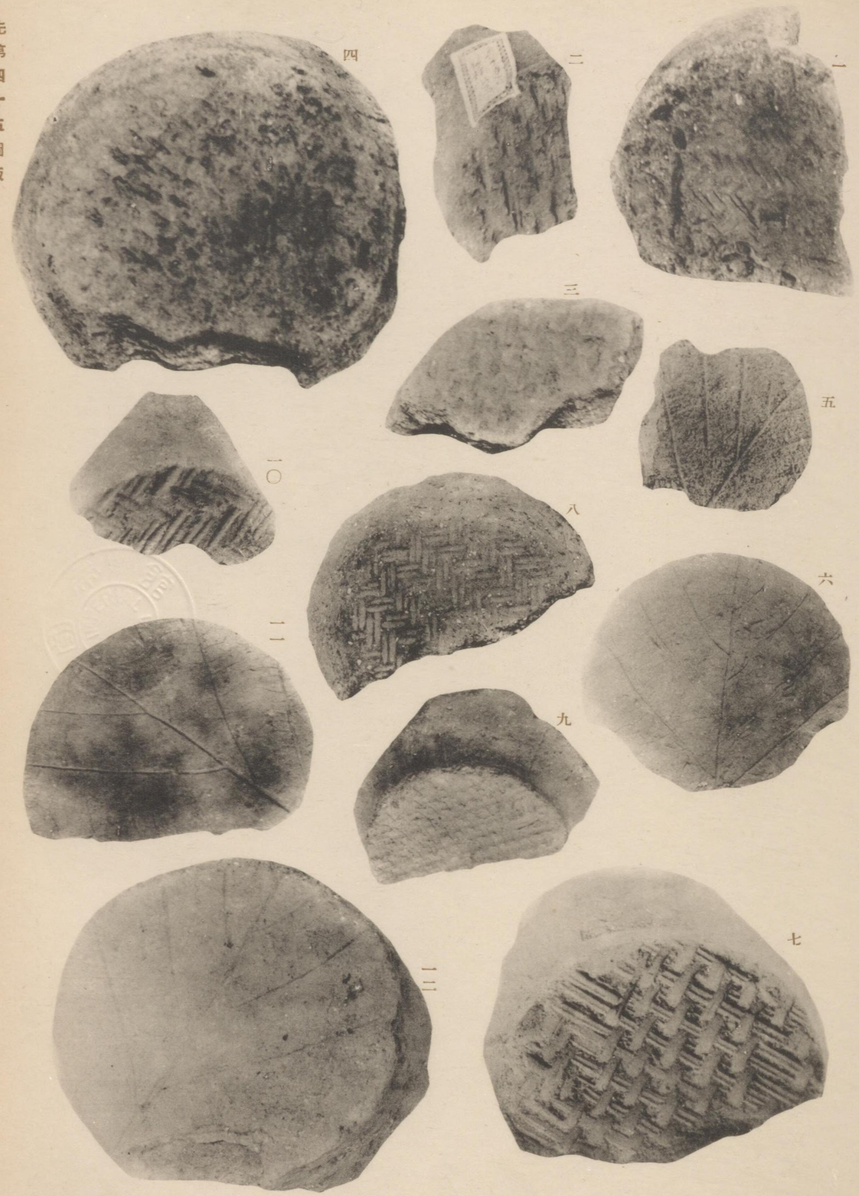
八一(一七)の裏

ア イ ヌ 人 厚 手 派 土 器 (其 七 • 把 手)

$\frac{1}{2}$は他$\frac{1}{3}$は(六一)(五一)(四一)

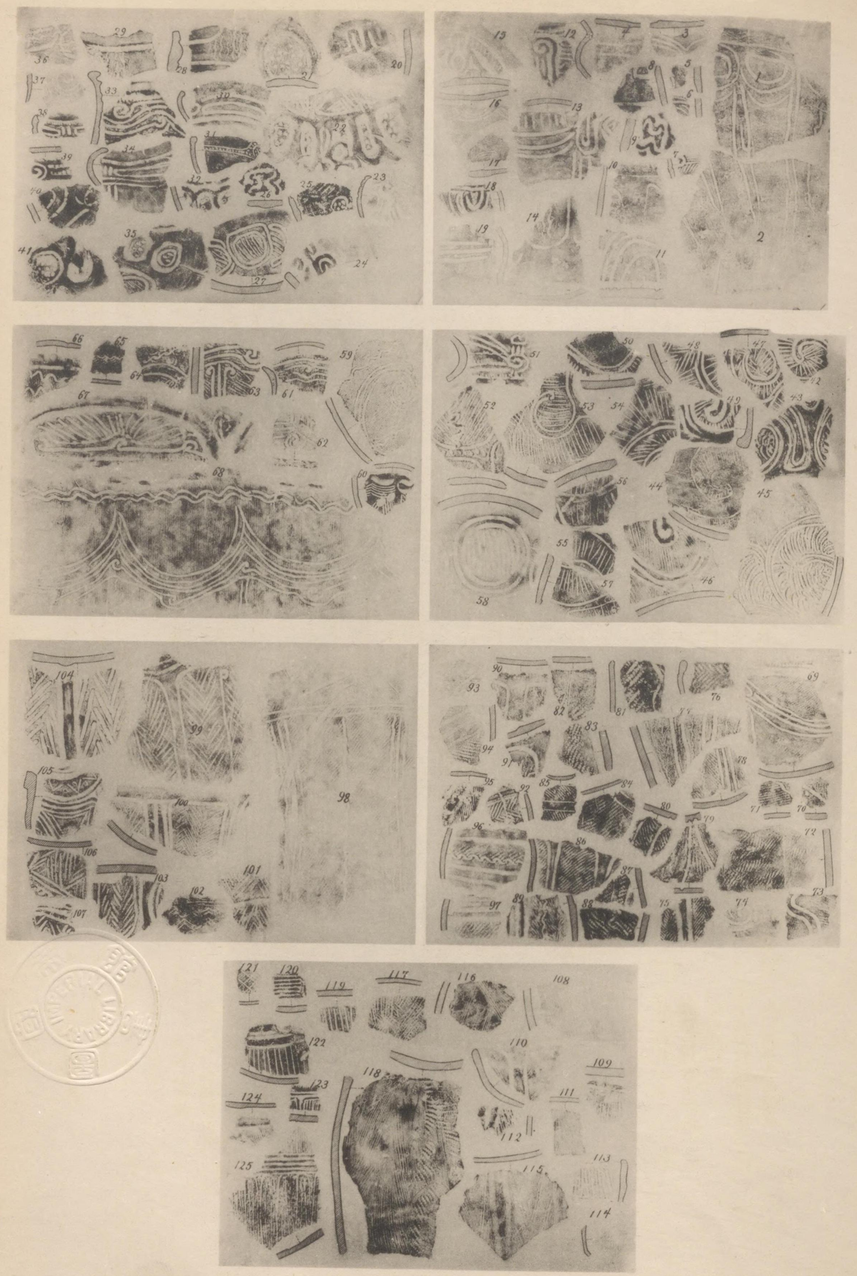
(一四)(一五)座光寺村新井原(三村三三氏藏) (一六)同(竹内二三氏藏) (一七)大島村元大水上(大島小學校藏) (一九)同 北垣外(同 藏) (二〇)伊賀良村北方朦瀧原(伊賀良小學校藏) (二一)平岡村滿島原(滿島小學校藏) (二二)(二三)山本村山本金塚堀(近藤政寛氏藏)

先第四十五圖版



土器底部

(一)—(四)鼎村山洞(鼎小學校藏)(五)(一〇)喬木村阿島郭(喬木第一小學校藏)(六)河野村大塚上(芦部丑太
(七)大島村元大島宮坂(大島小學校藏)(八)龍江村今田(仁木秋作氏藏)(九)市田村牛牧鐘鑄原(市
(一一)伊賀良村大瀨木孫兵衛屋敷(伊賀良小學校藏)(一二)座光寺村新井原(座光寺小學校藏)(田小學校藏)



アイヌ人厚手派土器文様拓影（其一）

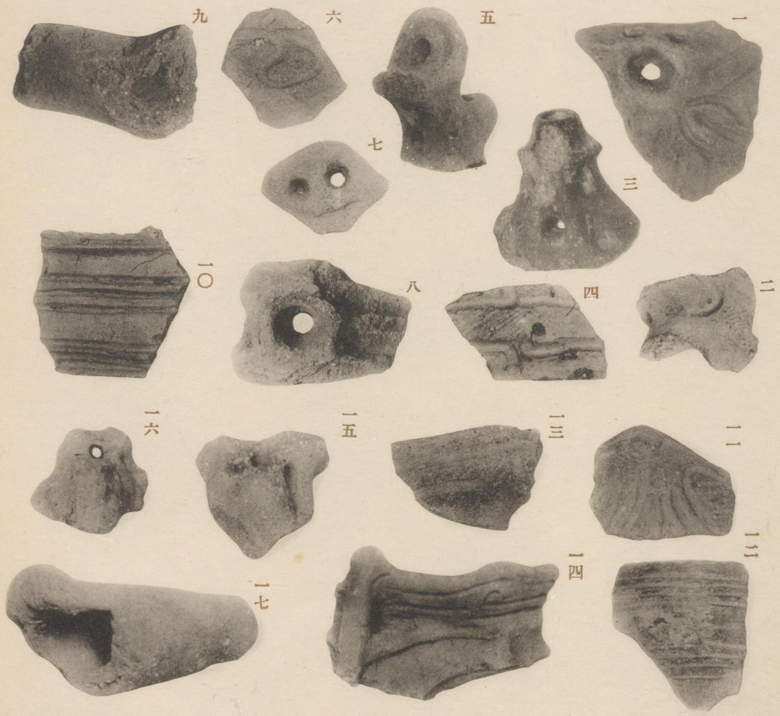
（一二）座光寺村新井原
（三）伍和村大鹿池ヶ窪
（四）同　上相澤
（五）（六）智里村小野川奥根木
（七）同　大野牧ヶ平
（八）山本村山本馬捨場
（九）松尾村妙前十六塚
（一〇）千代村法全寺寺屋敷
（一一）伊賀良村北方在京原
（一二）（一五）上郷村下黒田見城垣外
（一三）千代村米川上平
（一四）市田村
（一六）（一七）下川路村
（一八）（一九）喬木村阿島郭
（二〇）（二一）三穗村別所原
（二三）河野村大塚上
（二四）（三〇）上郷村別府上中島
（二五）（二六）松尾村寺所發向
（二七）（三二）座光寺村新井原
（二八）（二九）千代村法全寺寺屋敷
（三一）（三五）（三七）喬木村阿島郭
（三三）伍和村中尾
（三四）（三八）座光寺村大門原
（三六）上飯田村丸山押洞
（三九）龍丘村桐林前の原
（四〇）（四一）同　開善寺境内
（四二）伍和村備中原
（四三）河野村大塚上
（四四）—（四八）龍丘村開善寺境内
（四九）（五三）同　桐林前の原
（五〇）—（五二）座光寺村新井原
（五四）—（五八）上郷村下黒田見城垣外
（五九）（六〇）喬木村阿島郭
（六一）（六二）下川路村大明神
（六三）河野村大塚上
（六四（上飯田村正永寺原西原
（六五）（六六）山本村箱川原
（六七）（六八）座光寺村新井原
（六九）伊賀良村大瀬木原の平
（七〇）大下條村田上
（七一）生田村部奈
（七二）喬木村阿島郭
（七三）（七四）（七五）（九六）上郷村下黒田見城垣外
（七六）伊賀良村
（七七）神稻村田村原
（七八）下久堅村虎岩屋敷
（七九）（八二）（八八）（九二）（九四）千代村法全寺寺屋敷
（八〇）智里村園原長者屋敷
（八一）（八四）（九一）千代村米川上平
（八三）上飯田村丸山押洞
（八六）伍和村備中原
（八七）智里村大野牧ヶ平
（八八）上飯田村正永寺原高越
（八九）伍和村大鹿上相澤
（九〇）千代村法全寺室屋
（九三）下條村睦澤親田
（九七）旦開村矢野
（九八）河野村大塚上
（九九）鼎村名古熊羽場
（一〇〇）座光寺村新井原
（一〇一）（一〇二）神稻村田村
（一〇三）同　林原
（一〇四）上郷村上中島
（一〇五）市田村
（一〇六）下川路村大明神原
（一〇七）上飯田村羽場權現堂裏
（一〇八）座光寺村新井原第四古墳下
（一〇九）（一二四）大下條村田上
（一一〇）下條村睦澤丸根天王原
（一一一）神稻村田村原
（一一二）下條村親田
（一一三）會地村
（一一四）下久堅村虎岩
（一一五）千代村米川上平
（一一六）（一一八）喬木村阿島郭
（一一七）下川路村今洞
（一一九）河野村部奈
（一二〇）智里村牧ヶ平
（一二一）神稻村向方上ノ畑
（一二二）神稻村林原
（一二三）千代村野池御射口
（一二五）市田村牛牧鐘鑄原

アイヌ人厚手派土器文様拓影（其二）總て $\frac{1}{6}$

先第四十七圖版

(一)市田村
(二三)智里村園原サブゴヤ
(四)同　大野牧ケ平
(五)上飯田村正永寺原高越
(六)同　正永寺原西原
(七)(八)山本村
(九)生田村部奈
(一〇)喬木村阿島郭
(一一)會地村中關
(一二)伍和村備中原
(一三)(一七)(一九)(二〇)河野村大塚上
(一四)山本村箱川原
(一五)大下條村田上
(一六)會地村中關
(一七)市田村
(一八)(二一)喬木村阿島郭
(二二)伍和村大鹿上相澤
(二三)山本村山本金堀塚
(二四)(二五)上郷村見城垣外
(二六)平岡村滿島南
(二七)下久堅村虎岩
(二八)(三一)智里村園原サブゴヤ
(二九)智里村大野牧ケ平
(三〇)生田村部奈
(三二)龍丘村開善寺
(三三)—(三五)下川路村今洞
(三六)喬木村阿島郭
(三七)—(三九)河野村大塚上
(四〇)(四一)下條村睦澤丸根
(四二)(四三)上郷村別府上中島
(四四)(四五)(四八)神稻村田村原
(四六)(四七)山吹村
(四九)(五〇)大島村大島東裏
(五一)大島村
(五二)智里村園原サブゴヤ
(五三)(五五)龍丘村開善寺境內
(五四)千代村下村親平
(五六)座光寺村大塚附近
(五七)會地村中關
(五八)鼎村法全寺裏(柳添)
(五九)—(六六)山吹村駒塲山吹小學校敷地

常陸國稻葉郡高田村大字椎塚(發見地不明)
(東京帝國大學人類學教室藏)

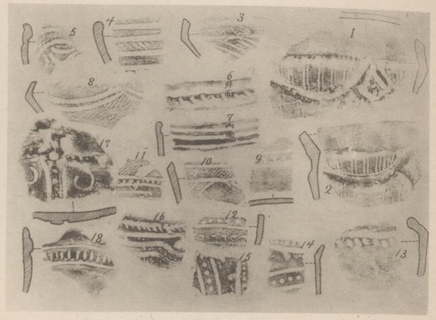


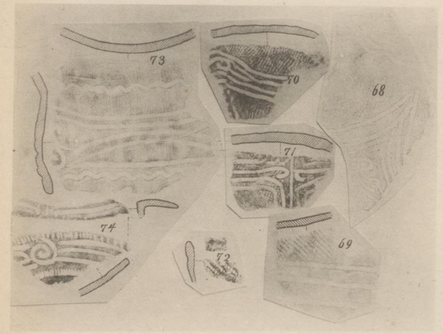
ア イ ヌ 人 薄 手 派 土 器 (其 一)

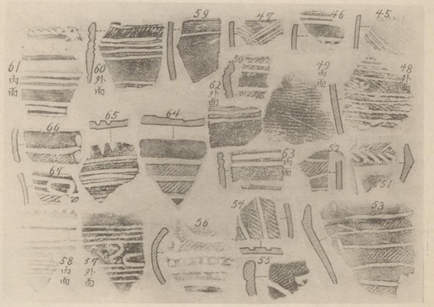
(一)—(一〇)喬木村阿島郭(喬木第一小學校藏) (一一)—(一七)河野村大塚上(芦部丑太郎氏藏)

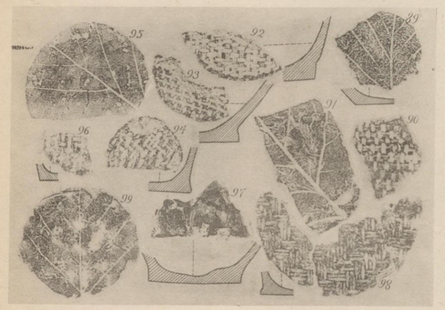
ア イヌ人薄手派土器（其二）

（藏校學小田飯上）裏堂現權原寺永正村田飯上（〇三）—（八二）（藏校學小吹山）分追村吹山（七二）—（八一）野 木瀨大 同（三三）（藏校學小良賀伊）內積木瀨大村良賀伊（二三）（藏 同）堂見ッ三山丸村田飯上（一三）下大）田稻早村條下大（一四）—（九三）（藏校學小條下）シヤバネク澤睦村條下（八三）—（四三）（藏 同）平池（藏校學小條）（藏校學小開且）洞ガ芳村開且（七四）—（二四）









ア イ ヌ 人 薄 手 派 土 器 及 ア イ ヌ 人 土 器 底 部 文 様 拓 影　総て $\frac{1}{4}$

先第五十圖版

(一)(二)山吹村追分
(三)―(一一)市田村牛牧鐘鑄原
(一二)―(一六)上飯田村羽場權現堂裏
(一七)伊賀良村北方野池平
(一八)龍丘村桐林前の原
(一九)―(二四)下川路村今洞
(二五)―(三一)根羽村月瀨日影平
(三二)―(三七)下條村賠澤クネヤシ
(三八)―(四三)且開村芳ガ洞
(四五)―(五二)平岡村滿島南
(五三)―(五五)龍江村城
(五六)―(五八)河野村大塚上
(五九)―(六七)喬木村阿島郭
(六八)座光寺村新井原
(六九)上郷村別府上中島
(七〇)(七一)伊賀良村大瀨木原の平
(七二)松尾村寺所發向
(七三)上飯田村正永寺原西原
(七四)伊賀良村大瀨木原の平
(七五)伊賀良村大瀨木孫兵衛屋敷
(七六)大島村元大島宮坂
(七七)(七八)鼎村山洞
(七九)―(八一)大下條村田上
(八二)(八三)上郷村下黒田大明神原
(八四)(九七)松尾村寺所發向
(八五)―(八八)市田村牛牧鐘鑄原
(八九)―(九四)喬木村阿島郭
(九五)伊賀良村大瀨木大平
(九六)下久堅村虎岩
(九八)(九九)河野村大塚上

二

一

五

四

三

八

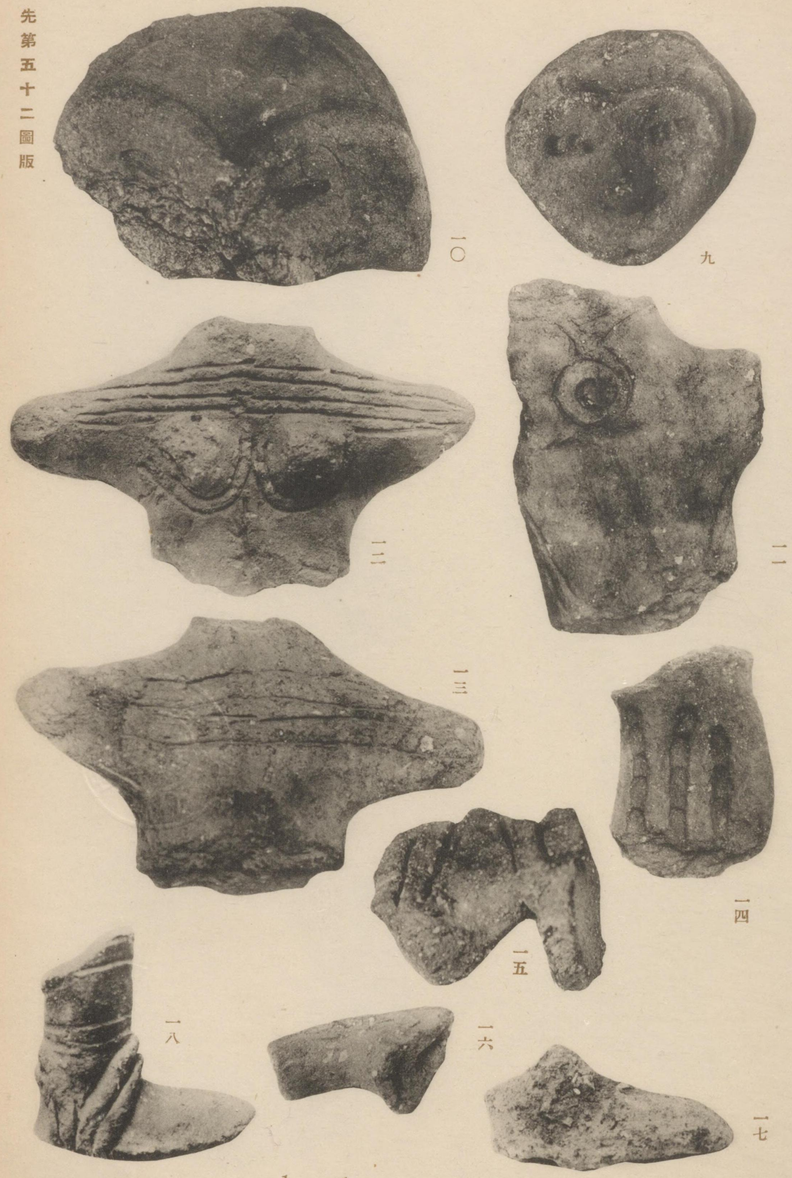
七

六

土偶（其一）總て1

（一）（藏氏博雅內牧村路川下）內境寺善開村丘龍（二）（藏室教學類人學大國帝京東）原鑄鐘牧牛村田市（三）（藏校學小一第木喬）郭島阿村木喬（四）（藏校學小吹山）村吹山（五）（藏校學小一第木喬）郭島阿村木喬（六）（藏氏三三村三）原井新村寺光座（七）（藏氏雄秀村中）原鑄鐘牧牛村田市（八）（藏氏郎一下宮）原京在方北村良賀伊

先第五十二圖版



土偶（其二）（一〇）は $\frac{1}{2}$ 他は $\frac{1}{1}$

（一一）龍丘村桐林前の原（一〇）山吹村駒塲小學校敷地（山吹小學校藏）（九）山吹村追分東裏（山吹小學校藏）（一二）（一三）上郷村下黒田庚申塚（上郷小學校藏）（一四）喬木村阿島郭（喬木第一小學校藏）（一五）（一六）河野村大塚上（芦部丑太郎氏藏）（一七）座光寺村新井原（三村三三氏藏）（一八）龍丘村開善寺境内（開善寺藏）

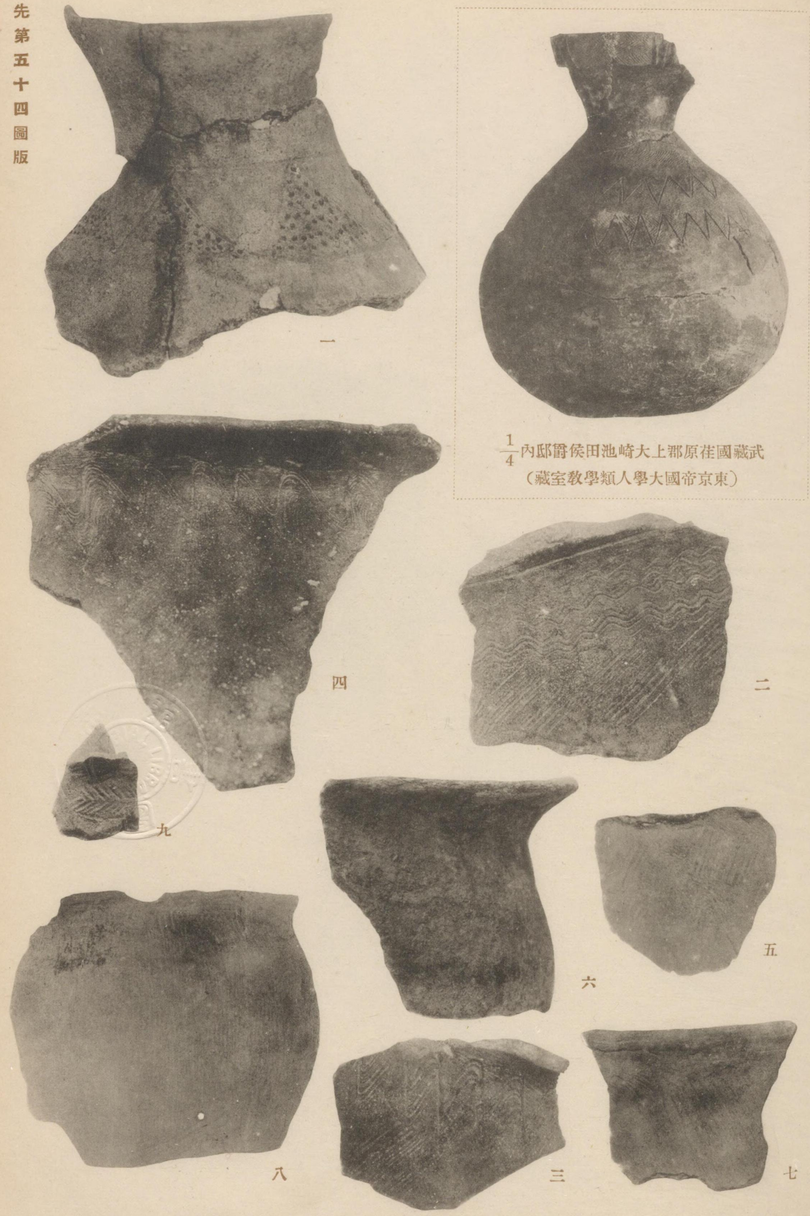
座光寺村高岡附近（座光寺小學校藏）

上郷村下黒田砂原畑（上郷小學校藏）

松尾村寺所發向（松尾小學校藏）

彌生式土器（其一）總て$\frac{1}{3}$

先第五十四圖版



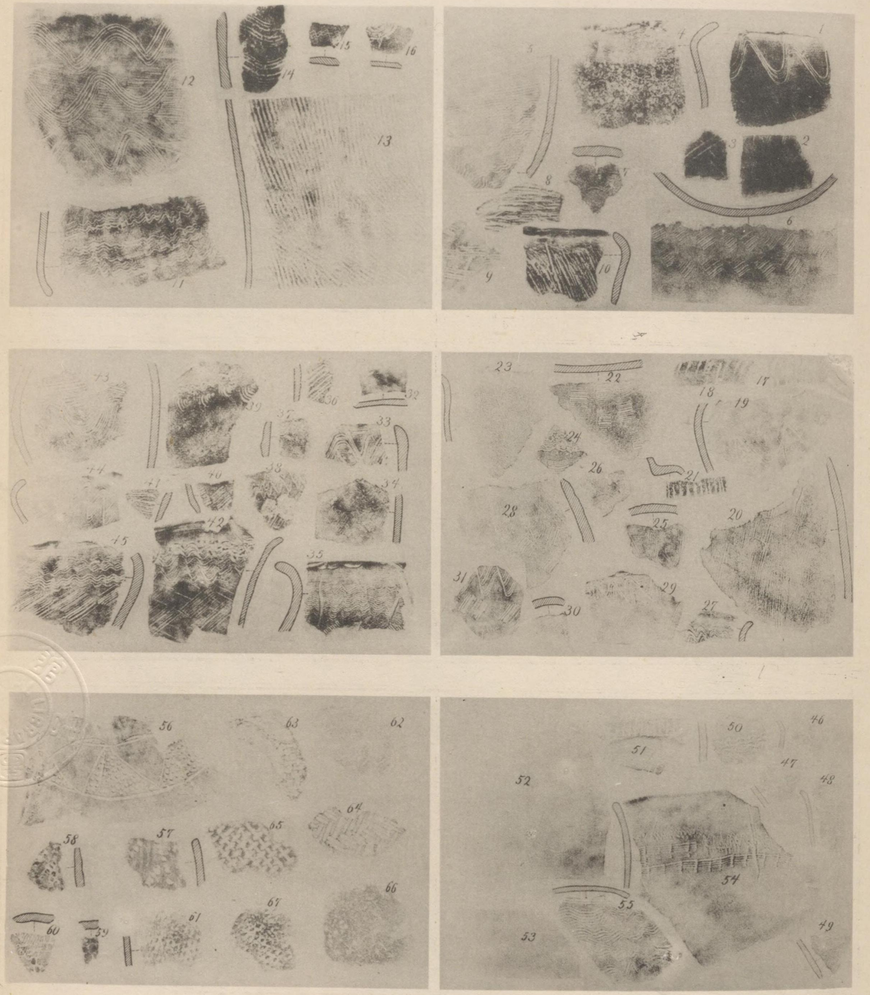
武藏國荏原郡上大崎池田侯爵邸内 $\frac{1}{4}$
（東京帝國大學人類學教室藏）

彌生式土器（其二）總て $\frac{1}{3}$

（一）龍丘村長野原堤山（龍丘小學校藏）（二）（三）山本村山本金掘塚（近藤政寛氏藏）（四）龍丘村今田ネギヤ（龍江小學校藏）（伊賀良村北方眞慶地（伊賀良小學校藏）（六）神坂峠（本谷小學校藏）（七）千代村野池牧（千代小學校藏）（八）座光寺村高岡附近（吉川庄作氏藏）（九）松尾村毛賀竹腰（赤羽幸太郎氏藏）

彌生式土器（其三）

（一）―（五）會地村春日向田（會地小學校藏）（六）松尾村上毛賀（赤羽幸太郎氏藏）（七）同　下毛賀田圃（同　藏）（八）龍丘村桐林壕原（龍丘小學校藏）（九）―（一〇）座光寺村坪の内（座光寺小學校藏）（一一）喬木村小川馬場平（喬木第一小學校藏）（一二）（一三）座光寺村高岡附近（竹内二三氏藏）



彌生式土器文樣拓影

先第五十六圖版

(一)―(三)上飯田村押洞ヤシ屋數箇畑
(四)神坂峠
(五)伊賀眞村北方伊京
(六)同　北方ハチヤシキ
(七)山本村竹佐森林
(八)(九)龍丘村開善寺
(一〇)千代村野池牧
(一一)上郷村別府上中島
(一二)座光寺村新井原
(一三)上飯田村丸山山ノ田
(一四)伊賀良村大瀬木細田原
(一五)千代村野池大平
(一六)同　法全寺寺屋敷
(一七)―(一九)松尾村下毛賀田園
(二〇)(二一)神稻村小學校敷地
(二二)(二八)河野村瀧川
(二三)龍江村今田ネギヤ
(二四)(五〇)上飯田村羽場正永寺原權現堂裏
(二五)―(二七)山本村竹佐森林
(二九)(三〇)山本村箱川中尾
(三一)伊賀良村眞慶地
(三二)(三三)大下條村田上
(三四)上飯田村丸山山ノ田
(三五)伊賀良村北方ハチヤシキ
(三六)(三七)會地村京田原
(三八)山本村久米中尾
(三九)神稻村小學校敷地
(四〇)(四一)會地村駒場中原
(四二)喬木村小川馬場平
(四三)同　大久保
(四四)(四五)山本村山本金堀塚
(四六)山吹村新田原
(四七)下久堅村虎岩
(四八)喬木村阿島郭
(四九)三穗村伊豆木島垣外
(五一)―(五三)伊賀良村北方ハチヤシキ
(五四)大島村元大島神子原
(五五)上郷村別府ドドメキ
(五六)龍丘村長野原堤原
(五七)(五八)山吹村新田原
(五九)松尾村明集會所附近
(六〇)伊賀良村中村ようじ原
(六一)山吹村新田原
(六二)神稻村小學校敷地
(六三)(六四)喬木村阿島郭
(六五)鼎村山の洞
(六六)下川路村今洞
(六七)山吹村新田原

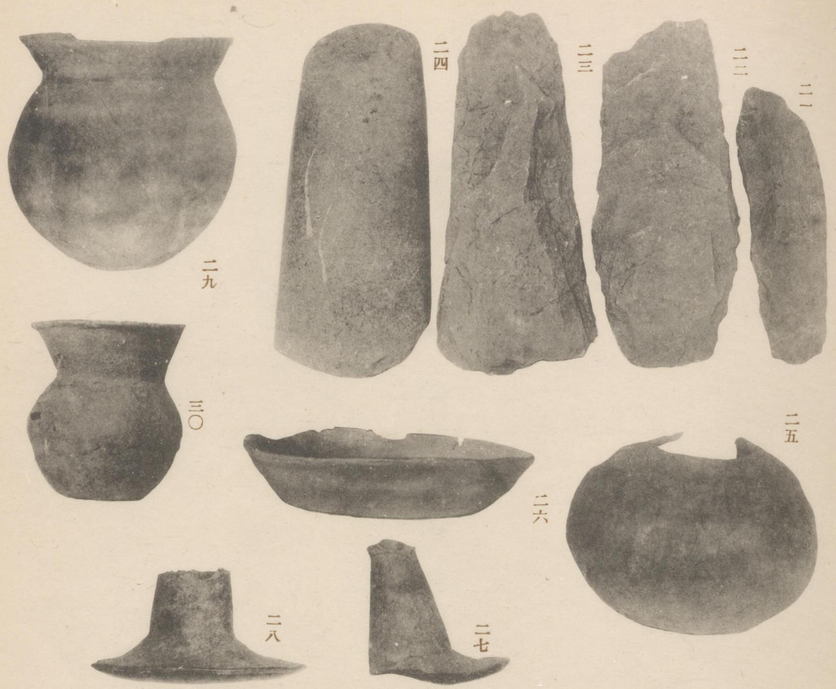
先第五十七圖版

左方、人の立てる邊に遺物發見地なり

神稻小學校數地固有日本人遺跡地全景

神稻小學校數地發掘

先史時代固有日本人の遺物 (其一) $\frac{1}{3}$

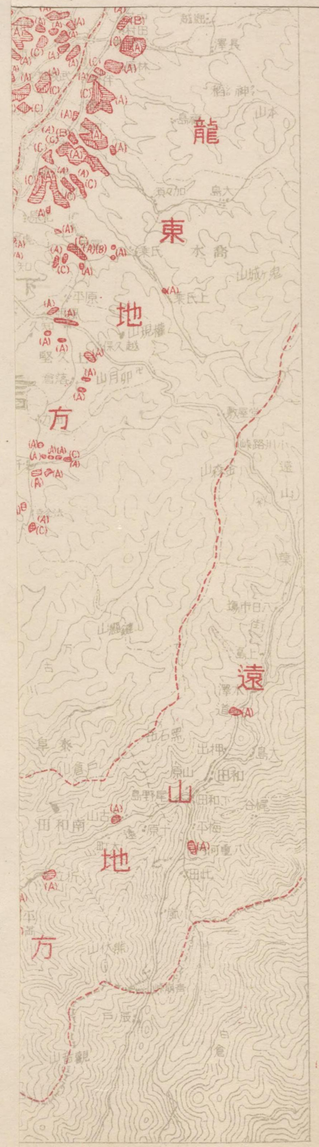


$\frac{1}{3}$ 上鄉村南條鏡越發掘

$\frac{1}{3}$ 座光寺村ハンザキ發掘

先史時代固有日本人の遺物（其二）

先史時代遺跡分布地圖　凡例



先史時代遺跡分地布圖　凡例

一、本地圖は總圖一葉と各地方別圖十三葉とから成り、左の如く類別記入した。

(1)　アイヌ人厚手派遺跡　アイヌ人厚手派土器とその伴出石器發見地。

(2)　アイヌ人薄手派遺跡　アイヌ人薄手派土器とその伴出石器發見地。

(3)　固有日本人遺跡　彌生式土器とその伴出石器發見地。

以上三類を本體とするものであるが、實際上その二種又は三種を混淆した一遺跡も有り得る。卽ち

(4)　アイヌ人厚手派及薄手派遺跡

(5)　アイヌ人厚手派及固有日本人遺跡

(6)　アイヌ人厚手派・アイヌ人薄手派及固有日本人遺跡

となる。但し今一つの場合である「アイヌ人薄手派及固有日本人遺跡」は本郡には一箇所もない。

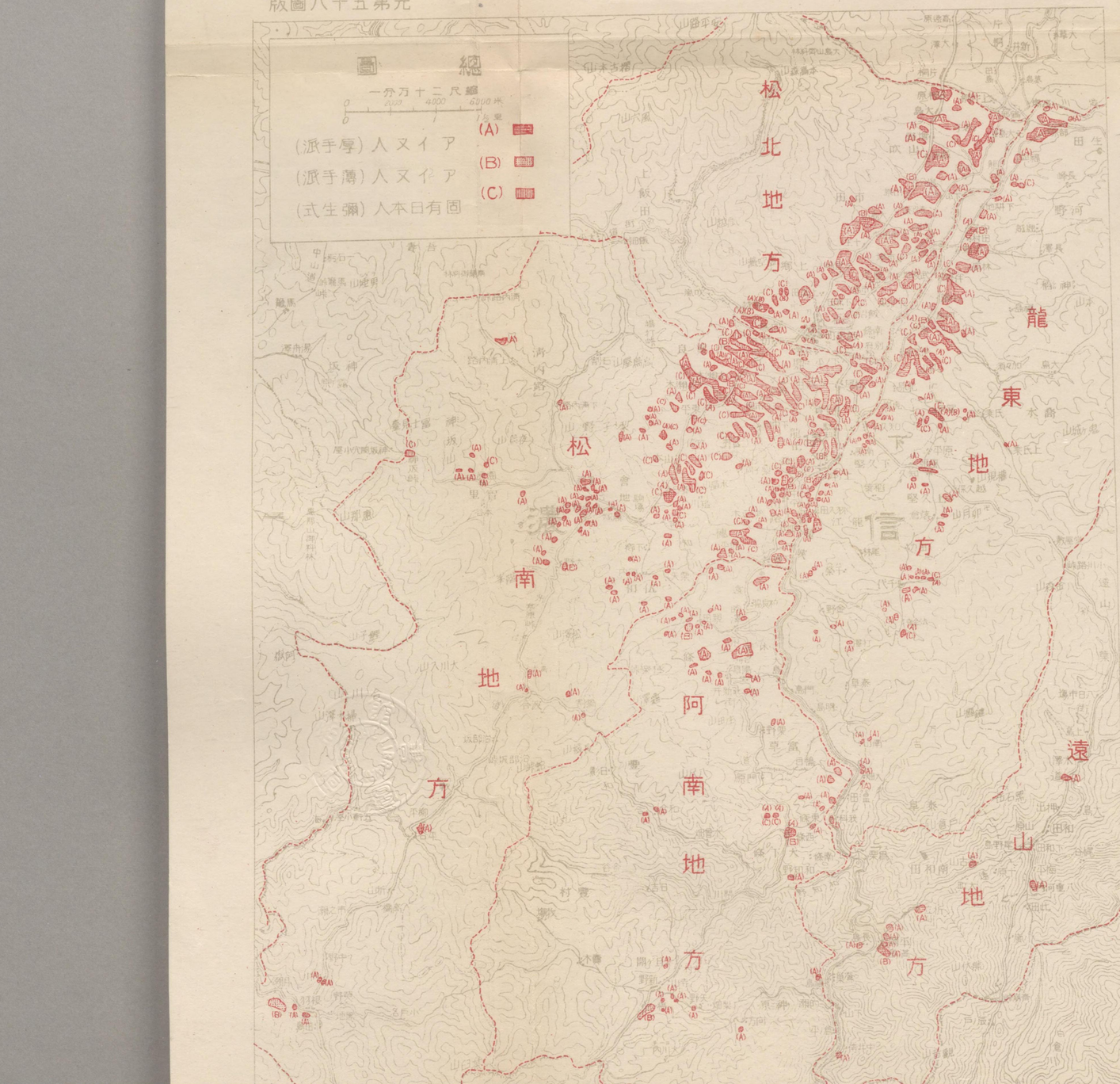
一、遺跡地名は各町村役場の土地臺帳に準據した。別に通俗の稱呼あるものは之れを附記した。

一、遺物出土地卽ち遺跡の範圍限界は明瞭でない場合が多い。それらは地形を參照して推定記入した。また遺物出土の範圍狹小なるところは廓大記入した。これは止むを得ないことに屬する。

一、遺蹟の記入は出來得る限り正確ならんことを期し、編纂主任市村は各町村編纂委員の助力を得て、實地踏査を經たる後、本原圖を作成した。

一、本地圖は大正十三年七月末日までの調査報告に基く。

一、本地圖は陸地測量部五萬分一地圖に準據、分載した。



(2) アイヌ人薄手派遺跡　アイヌ人薄手派土器ぞその伴出石器發見地。

(3) 固有日本人遺跡　彌生式土器ぞその伴出石器發見地。

以上三類を本圖ぞするものであるが、實際上その二種又は三種を混淆した一遺跡も有り得る。卽ち

(4) アイヌ人厚手派及薄手派遺跡

(5) アイヌ人厚手派及固有日本人遺跡

(6) アイヌ人厚手派・アイヌ人薄手派及固有日本人遺跡

ぞなる。但し今一つの場合である「アイヌ人薄手派及固有日本人遺跡」は本郡には一箇所もない。

一、遺跡地名は各町村役場の土地臺帳に準據した。別に通俗の稱呼あるものは之れを附記した。

一、遺物出土地卽ち遺跡の範圍限界は明瞭でない場合が多い。それらは地形を參照して推定記入した。また遺物出土の範圍狹小なるぞころは廓大記入した。これは止むを得ないことに屬する。

一、遺蹟の記入は出來得る限り正確ならんことを期し、編纂主任市村は各町村編纂委員の助力を得て、實地踏査を經たる後、本原圖を作成した。

一、本地圖は大正十三年七月末日までの調査報告に基く。

一、本地圖は陸地測量部五萬分一地圖に準據、分載した。

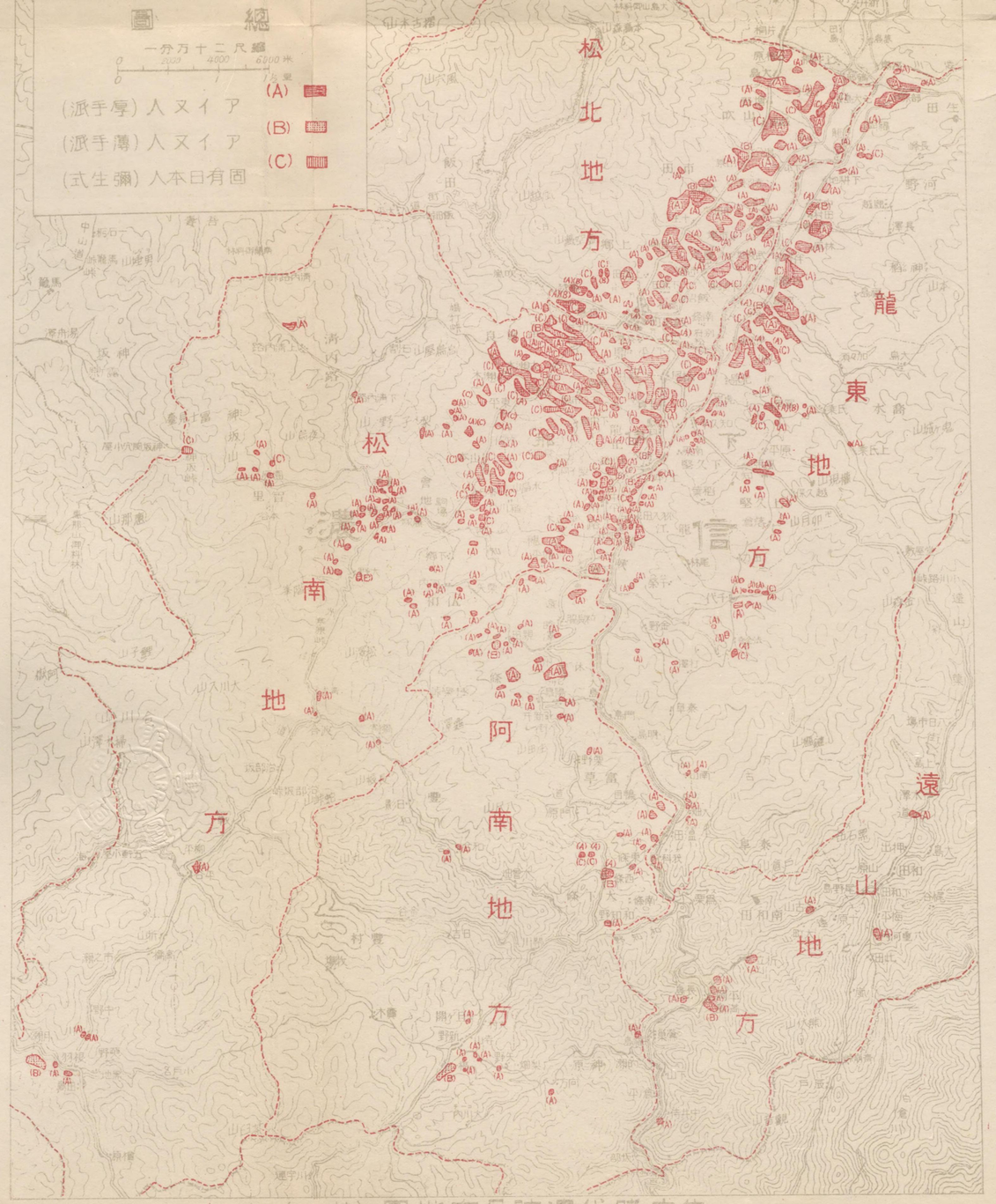
(2) アイヌ人薄手派遺跡　アイヌ人薄手派土器とその伴出石器發見地。
(3) 固有日本人遺跡　彌生式土器とその伴出石器發見地。

以上三類を本圖とするものであるが、實際上その二種又は三種を混淆した一遺跡も有り得る。卽ち

(4) アイヌ人厚手派及薄手派遺跡
(5) アイヌ人厚手派及固有日本人遺跡
(6) アイヌ人厚手派、アイヌ人薄手派及固有日本人遺跡

となる。但し今一つの場合である「アイヌ人薄手派及固有日本人遺跡」は本郡には一箇所もない。

一、遺跡地名は各町村役場の土地臺帳に準據した。別に通俗の稱呼あるものは之れを附記した。
一、遺物出土地卽ち遺跡の範圍限界は明瞭でない場合が多い。それらは地形を參照して推定記入した。また遺物出土の範圍狹小なるところは廓大記入した。これは止むを得ないことに屬する。
一、遺蹟の記入は出來得る限り正確ならんことを期し、編纂主任市村は各町村編纂委員の助力を得て、實地踏査を經たる後、本原圖を作成した。
一、本地圖は大正十三年七月末日までの調査報告に基く。
一、本地圖は陸地測量部五萬分一地圖に準據、分載した。



先史時代遺跡分布地圖（其一）

先史時代遺跡分布地圖（其二）

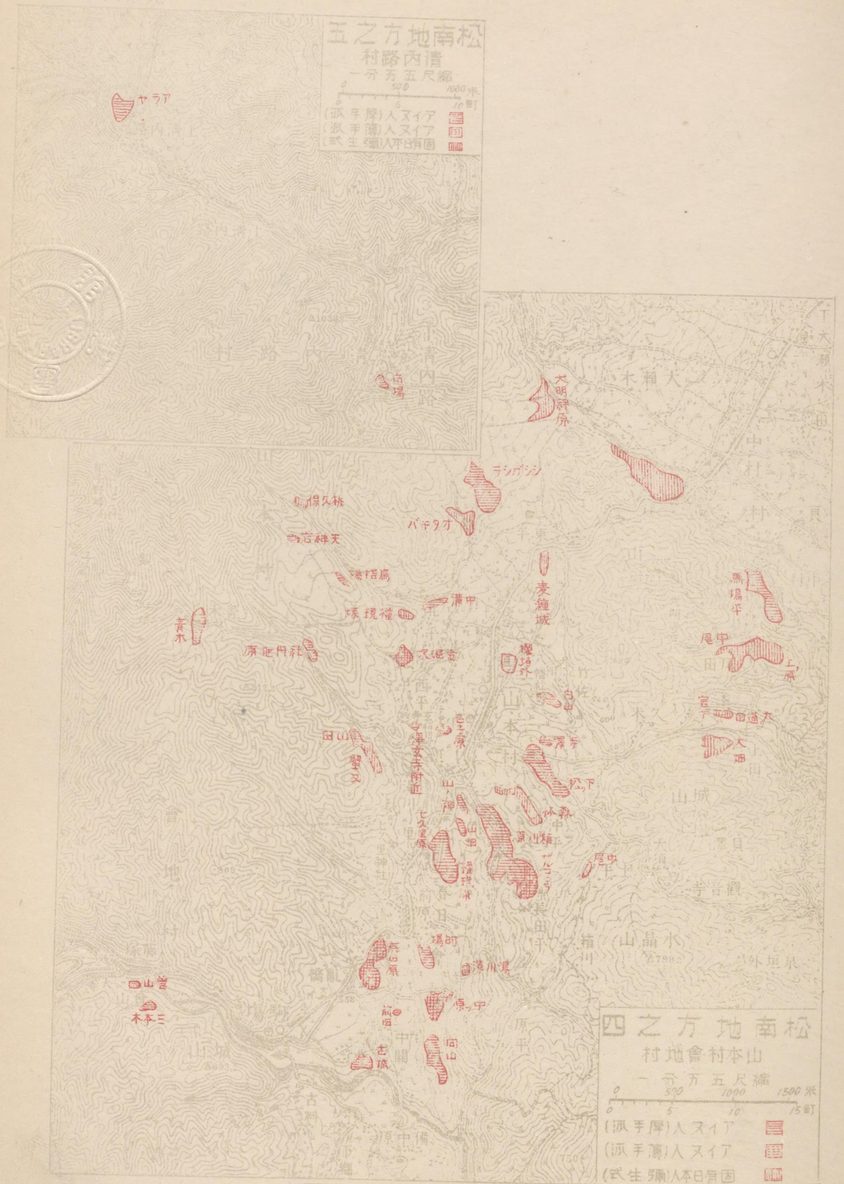
先系六十図版

(岩崎)図地布分跡遺代時史先

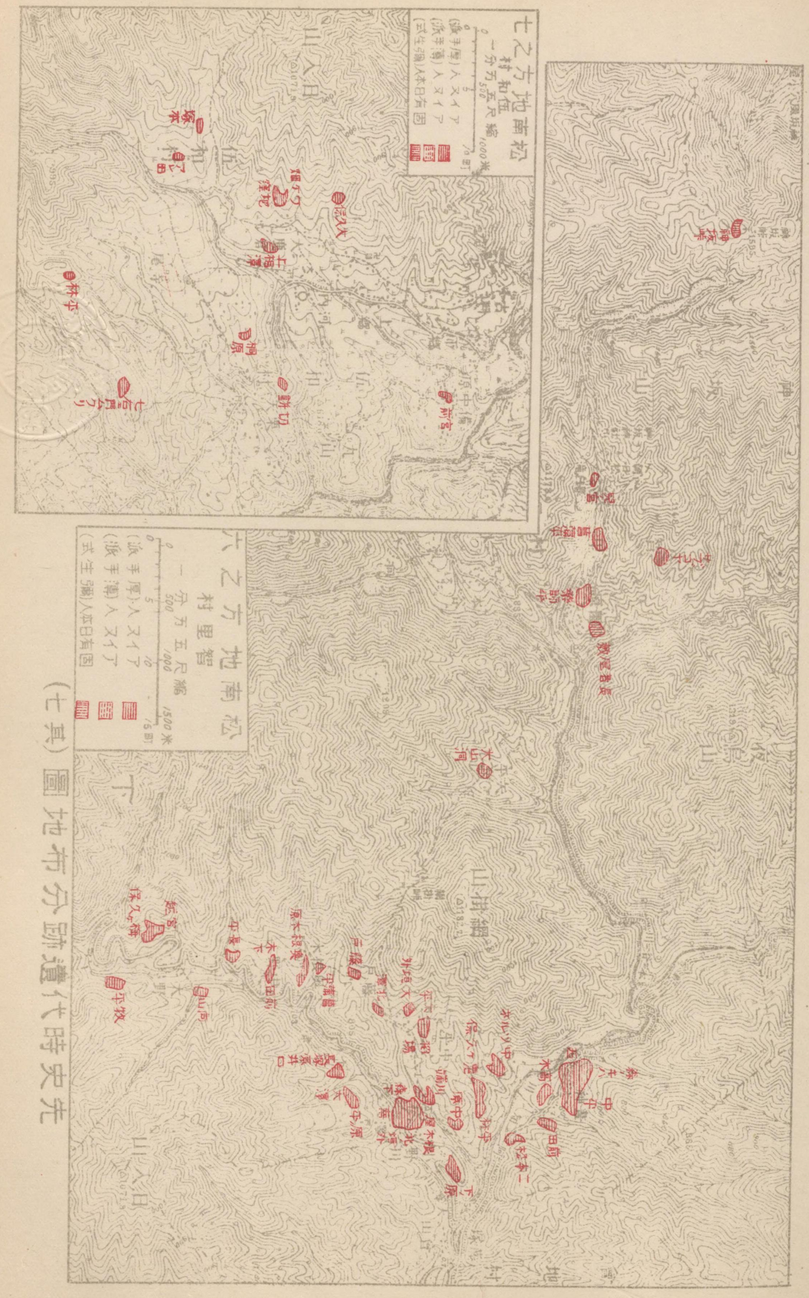
(四其) 圖地布分跡遺代時史先

先第六十二圖版

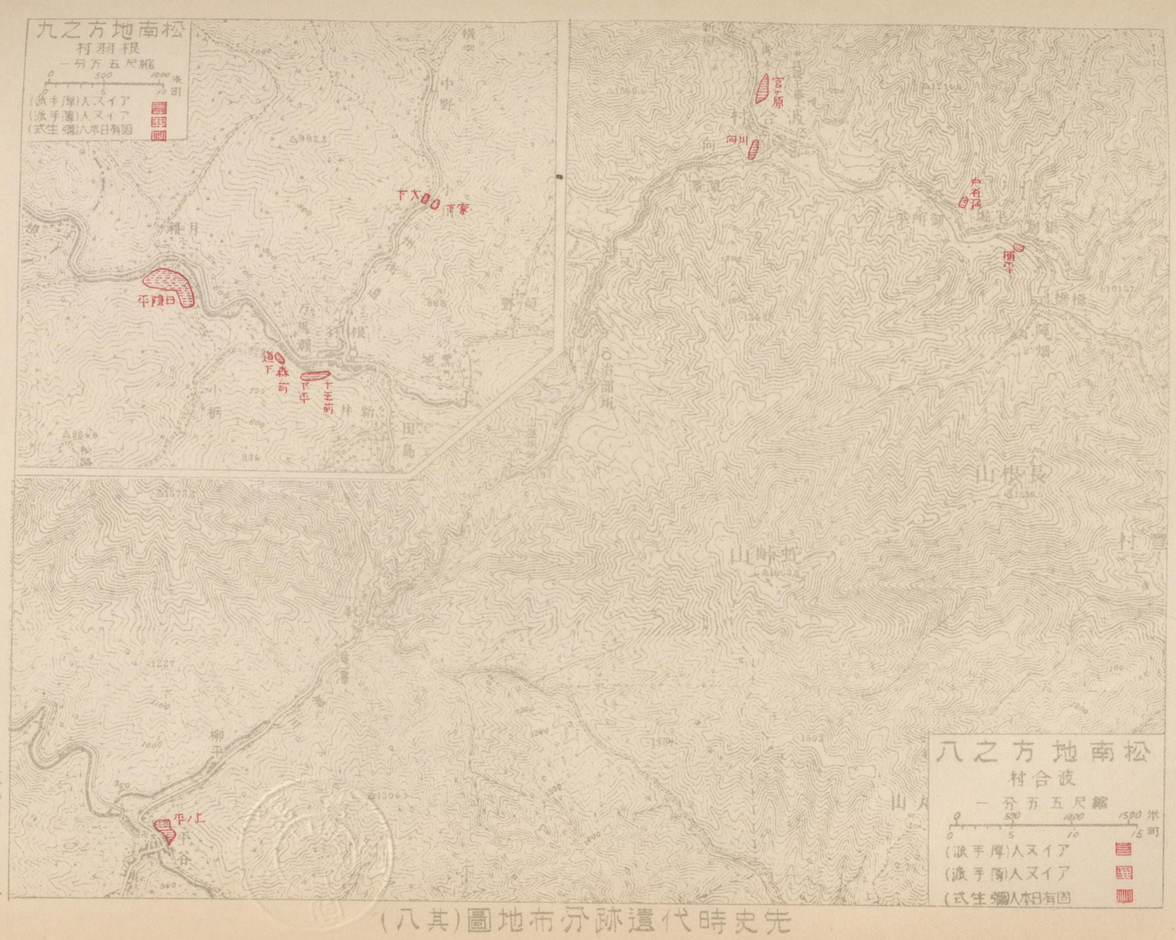
先史時代遺跡分布地圖 (其五)



先史時代遺跡分布地圖(其六)

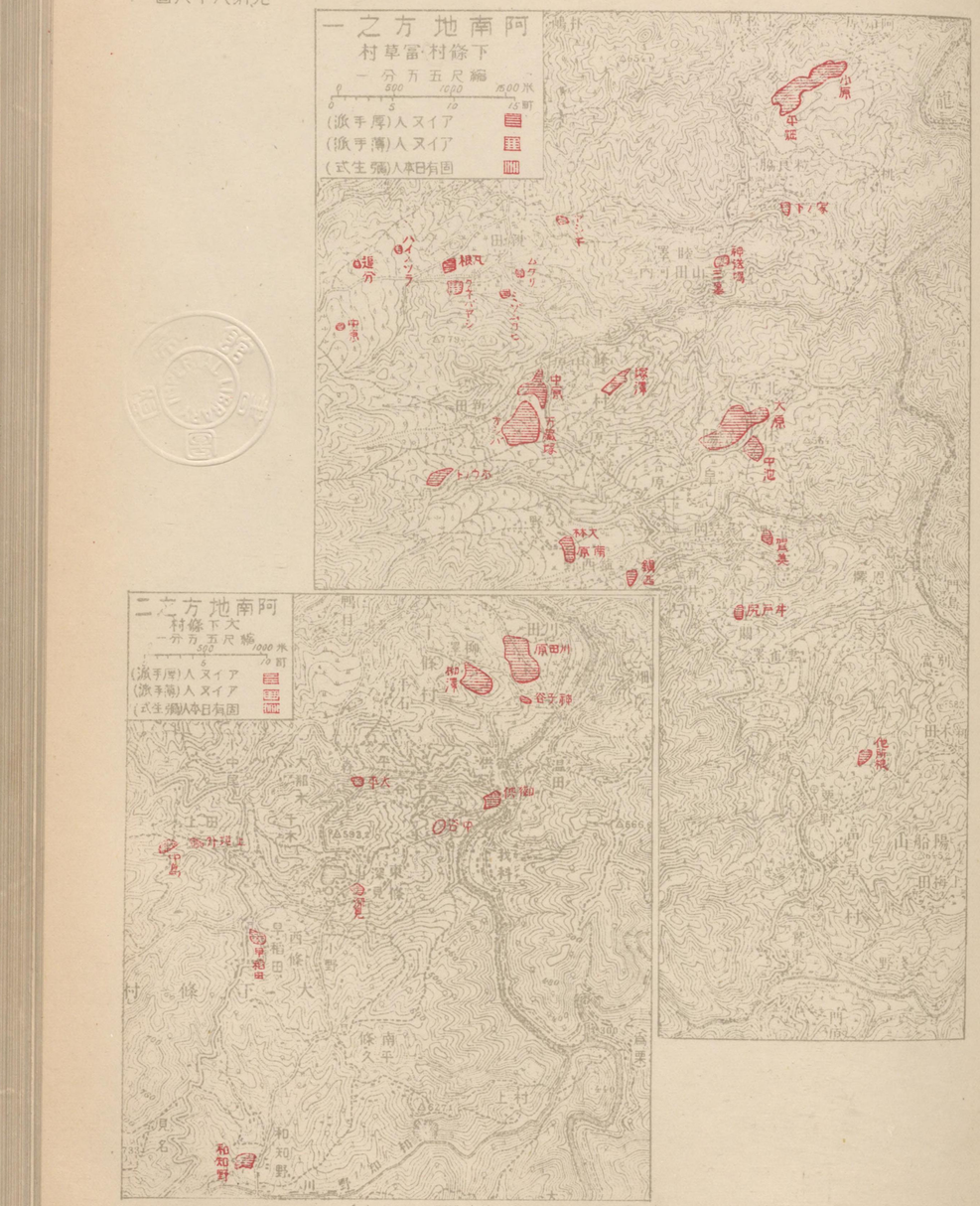


（七其）圖地布分跡遺代時史先

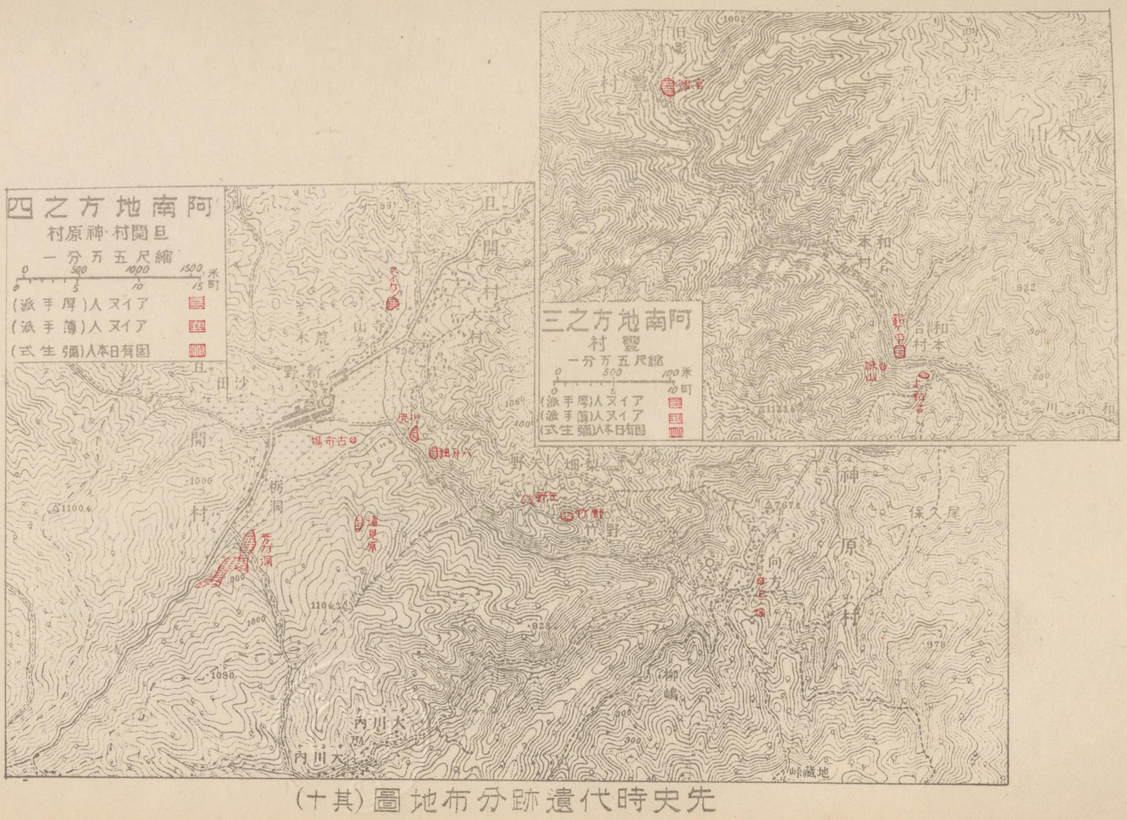


先第六十五圖版

先史時代遺跡分布地圖(其八)

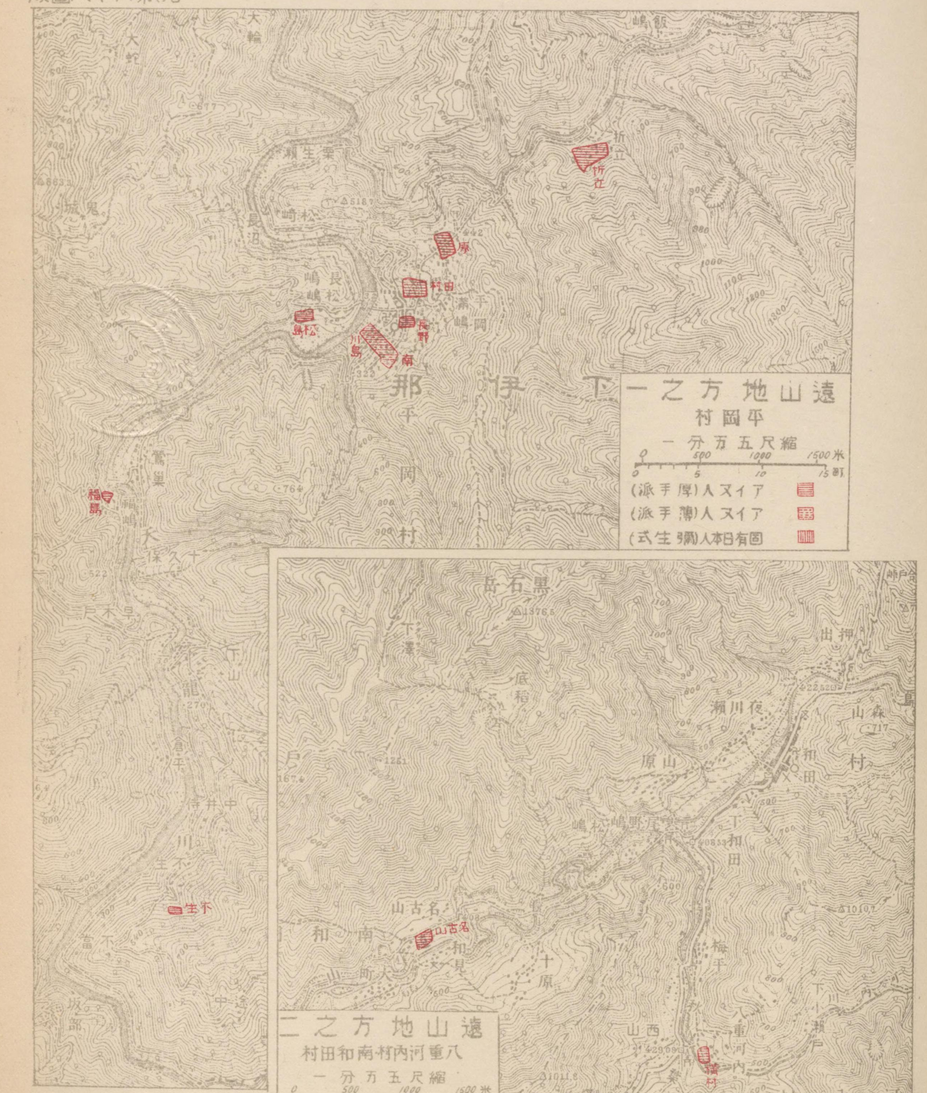


先史時代遺跡分布地圖(其九)



先第六十七圖版

先史時代遺跡分布地圖(其十)



先史時代遺跡分布地圖（其十一）